

建設業社会貢献活動事例集

平成23年度

生活を守り
まちをささえる
建設業

社団法人 全国建設業協会
47都道府県建設業協会

はじめに

わが国経済は、史上類を見ない円高・ドル安傾向が続き、また株価も長期低迷する中、欧州各国の信用不安やアメリカ経済の長期低落傾向が続き、デフレ傾向にも歯止めがかからず、先行きには不透明感が強まっています。

こうした状況下、昨年3月11日には東日本大震災が発生し、巨大津波と原発事故が広範囲の地域に甚大な被害をもたらし、国民・社会の安全・安心を確保するための防災・減災対策の推進が喫緊の課題となっております。

被災地並びに各地の建設企業は、自らも被災する中、被災者の救済、行方不明者の捜索活動はもとより、道路の啓開作業、瓦礫の処理など、いち早く復旧・復興対策に使命感をもって取り組むとともに、今冬の豪雪時にも、地域を熟知した建設業としての特性を生かし、各地の除雪作業に危険を顧みず対応するなど、建設業の社会的責任を果たすその姿は、国民・社会から建設業の必要性を改めて再認識される結果となりました。

このため、昨年、国土交通省が取りまとめた『建設産業の再生と発展のための方策2011』では、地域維持型契約方式の導入が盛り込まれるなど、地域建設業の維持・育成・支援が喫緊の課題であると提言されることとなりました。

また、公共事業の必要性、計画的な社会基盤整備はもとより、地域の基幹産業として地域経済・雇用等の維持並びに災害復旧活動等に貢献している建設産業の正しい姿について国民・社会からの理解・認識を醸成するため、本会では、毎年7月を、「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、各都道府県建設業協会並びに会員企業と連携し、地域建設業界の実践している幅広い社会貢献活動を、国民・社会に広くアピールするとともに、公共事業への理解を深める活動を展開しております。

本事例集は、本会が平成23年度に実施した「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」において顕彰した各建設業協会・支部並びに会員企業が行った優れた社会貢献活動を事例集として取りまとめたものであります。

本書が地域建設業界の取り組んでいる社会的責任（CSR）と、国民生活の安全・安心の確保のため、災害発生時には危険を省みず、日夜奮励している地域建設業界の真摯な社会貢献活動をご理解いただくとともに、欧米諸国に比べて脆弱な我が国の社会基盤の計画的・継続的な整備の必要性を認識いただく一助となれば幸甚であります。

平成24年4月

社団法人 全国建設業協会

目 次

1. 報告書の概要.....	1
2. 「建設業社会貢献活動推進月間」について.....	2
(1) 開催趣旨.....	2
(2) 行事の開催.....	2
(3) 功労者表彰.....	19
3. 社会貢献活動の事例 — 功労者表彰受賞者の活動事例から抜粋 —.....	21
3. 1 代表的な活動事例.....	21
(1) 地域住民参加型防災訓練の実施（宮坂建設工業(株)）.....	21
(2) 自然をつなぐ「学校ビオトープ」づくり（東城建設(株)他3社）..	25
3. 2 協会・支部等の活動事例.....	29
(1) 災害復旧支援活動.....	30
(2) 防災支援活動.....	32
(3) 環境美化活動.....	35
(4) 環境保全活動.....	38
(5) 建設業ふれあい活動.....	39
(6) 社会福祉活動.....	44
(7) 防疫活動.....	46
3. 3 会員企業の活動事例.....	49
(1) 災害復旧支援活動.....	50
(2) 防災支援活動.....	52
(3) 環境美化活動.....	53
(4) 環境保全活動.....	61
(5) 建設業ふれあい活動.....	62
(6) 社会福祉活動.....	66
参考 リーフレット「生活を守り まちをささえる建設業Vol.6」（縮小版）....	68

1. 報告書の概要

近年、「企業の社会的責任」(CSR)が企業評価の重要な要素となり、各企業には経済的利益を追求するだけでなく、多様なステークホルダー(利害関係者)に対して、社会貢献、環境、法令遵守等の幅広い分野における社会的価値を重視し、企業の持続的な発展を図ることが必要不可欠となっております。

各都道府県建設業協会・支部・地区協会と各建設企業は、地域の基幹産業である建設業の社会的責任と使命を強く認識し、地域経済の活性化、雇用の確保に貢献するのみならず、国・地方自治体との災害協定に基づき、災害発生時には、住民の安全・安心を確保するため、不眠不休で応急復旧活動に取り組んでおります。

また、地域の環境保全のため、河川・道路・森林等の美化活動等に積極的に取り組むとともに、地域の祭りなど各種イベントへの協力、安全パトロール活動等を通じて地域に根ざした様々な取り組みを実践し、地域社会に大きく貢献しております。

しかしながら、このような地域建設業界の取り組みは、マスコミ等において報道される機会も限られており、また、建設業界も必ずしも積極的にPR活動を行ってこなかったため、国民・社会から正しい理解と認識が得られていない状況にあります。

このため、本会では、平成18年度より毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、各都道府県建設業協会と緊密な連携により様々な社会貢献活動に取り組んでおります。

本会では、この月間の活動の一環として、各地域で実践された様々な社会貢献活動を広く募集し、全建表彰規程に基づき厳正な審査を経て、優れた活動事例を功労者表彰として顕彰しております。

本書は、平成23年度の中央行事において受賞された50事例の中から、当日、事例発表を行った宮脇建設工業株式会社(北海道)の「地域住民参加型防災訓練の実施」、富山県の東城建設(株)、大高建設(株)、(株)岡部、(株)関口組の4社による共同活動である「自然をつなぐ「学校ビオトープ」づくり」の2事例を始め、代表的な活動事例を選び、分類・紹介します。

紹介事例は、各都道府県建設業協会・支部等の活動18事例、地方協会会員企業の活動19事例の二つに大別し、さらに、①災害復旧・防災支援活動、②環境美化・保全活動、③建設業ふれあい活動、④社会福祉活動等のジャンルごとに整理し、国民生活の安全・安心の確保のため、災害発生時には危険を省みず、日夜奮励している地域建設業界の取り組み等、様々な社会貢献活動の内容を、「平成23年度建設業社会貢献活動事例集」として取りまとめたものです。

また、巻末には、この月間の開催に合わせて作成したリーフレット「生活を守り まちをささえる建設業 Vol. 6」(縮小版)を掲載しています。

2. 「建設業社会貢献活動推進月間」について

(1) 開催趣旨

地域の建設企業は、良質な社会資本整備の提供はもとより、災害時における応急復旧活動、河川・道路等の清掃活動、地域住民との交流など、様々な社会貢献活動を実践しています。しかし、このような取組みは、マスコミ等において報道される機会も少なく、必ずしも国民・社会から正しい理解と認識が得られていない状況にあります。

このため、本会では、毎年7月を、「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、各都道府県建設業協会並びに会員企業と連携し、地域建設業界の実践している幅広い社会貢献活動を国民・社会に広くアピールし、公共事業への理解を深める活動を展開するとともに、戦略的な広報活動のあり方について検討を行っています。

平成23年度は、第6回目の「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」を7月28日に東京・経団連会館において開催し、また、各都道府県建設業協会・支部においても、災害復旧支援活動、環境美化活動等の各種イベントや社会奉仕活動等が実施されました。

(2) 行事の開催

平成23年度「建設業社会貢献活動推進月間」において、本会並びに都道府県建設業協会の開催した行事、実施した活動は次のとおりです。

○(社)全国建設業協会の中央行事

行事名	平成23年度建設業社会貢献活動推進月間中央行事
日時	平成23年7月28日(木) 14:00~19:00
場所	経団連会館4階ダイヤモンドルーム
内容	(1) 開会 ・会長挨拶 (社)全国建設業協会会長 浅沼 健一 ・来賓ご挨拶 国土交通省建設流通政策審議官 大森 雅夫氏 (2) 建設業社会貢献活動功労者表彰式 ①規定第3条関係(協会・支部等)功労者表彰(21協会・支部) ②規定第4条関係(会員企業)功労者表彰(29社) (3) 建設業社会貢献活動事例発表 ①「地域住民参加型の防災訓練活動」=北海道・宮坂建設工業(株) ②「学校ビオトープづくりへの取り組み」=富山県・東城建設(株) (4) 記念講演会 『國の姿—アフリカから—』 講師：作家 曾野 綾子先生
参加者	約200名(国土交通省、都道府県建設業協会役員、建設関連団体及び一般関係者)

○都道府県建設業協会・支部、地区協会が実施した活動

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
北海道	エコキャップ運動	6月～12月	事務所内	
	交通安全街頭啓発（春季）（札幌建設業協会）	6月27日	JR札幌駅前交差点付近	業界30人、自治体2人
	高校生の現場見学会（札幌建設業協会）	7月13日	北広島市道営住宅工事（高台町団地）	業界3人、一般76人
	交通安全街頭啓発（秋季）（札幌建設業協会）	10月13日	札幌市中央区北1条・北2条西5丁目付近の道路	業界105人、自治体5人
	高校生の現場見学会（札幌建設業協会）	10月7日	シューパロ発電所建設事業（夕張市）	業界3人、一般70人
	インターンシップ現場実習体験（函館建設業協会）	7月6日～8日	函館市内及び近郊の建設関連企業	業界33事業所、一般80人
	平成23年度道路クリーン作戦（小樽建設協会）	5月13日	小樽市・余市町・共和町・黒松内町・倶知安町	業界300人、自治体50人
	小樽建設管理部危機管理演習（小樽建設協会）	10月19日	虻田郡京極町字更進	業界10人、自治体4人
	地域再生フォーラムⅦ（空知建設業協会）	3月7日	まるみーる岩見沢市文化センター中ホール	業界296人、一般38人、自治体70人
	クリーンアップ日本海（留萌建設協会）	5月30日	留萌市海岸	業界100人、一般220人、自治体400人
	高校生の建設工事現場見学会（旭川建設業協会）	9月9日	旭川別院宗祖親鸞聖人本堂等改修工事、特別養護老人ホーム楽生園新築工事、旭川市道営住宅改善工事（神楽岡ニュータウン）	業界30人、一般3人、自治体40人
	高校生の建設工事現場見学会（旭川建設業協会）	9月26日	昭和通第2工区橋梁新設（上部工）工事、忠別川右1-2号幹線その15号下水道新設工事、下水道処理センター8系水処理施設工事	業界30人、一般3人、自治体40人
	路線バスで交通安全の用語を社内で放送（旭川建設業協会）	1月1日～12月31日	当協会近く（6条6丁目）のバス停、1日に旭川電気軌道及び道北バス440台の降車前のバスの車中で放送	旭川電気軌道及び道北バス利用者
	旭川育児院 ひと月早いクリスマス（旭川建設業協会）	11月24日	社会福祉法人旭川育児院	業界5人、一般36人、自治体72人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	投雪ボランティア(旭川建設業協会)	2月19日	旭川市の中心街で融雪溝がある道路	業界23人、自治体178人
	ボルネオ緑の回廊・野生生物レスキュー設立プロジェクト支援の飲料水自販機の設置(旭川建設業協会)	1月1日～12月31日	(一社)旭川建設業協会1階ロビー	飲料水自販機利用者
	東十勝ロングトレイルモニターツアー(帯広建設業協会)	2月5日、5月21日、6月25日、6月26日、10月22日、11月12日	豊頃町及び浦幌町周辺地域	参加総数258人
	帯広市社会福祉協議会等への寄付(帯広建設業協会)	6月15日	帯広市社会福祉協議会	業界2人、一般2人
	建設現場見学会(帯広建設業協会)	9月29日	帯広市豊成小学校校舎改築建築主体工事ほか	業界8人、一般117人
	建設現場見学会(帯広建設業協会)	10月18日	北海道横断自動車道浦幌町釧勝トンネル工事(浦幌町)外	業界7人、一般84人
	第22回まちづくりジュニア現地学習会(帯広建設業協会)	9月21日	帯広広尾自動車道中札内村栄東改良工事	業界16人、一般140人
	リングプル収集活動(網走建設業協会)	通年実施	会員各社	業界145人
	エコキャップ運動(網走建設業協会)	通年実施	会員各社	業界145人
青森県	事業所・施工現場周辺の一斉清掃	7月28日	県内一円	業界1,784人
宮城県	献血推進活動	2月2日、2月23日、8月1日、9月16日、11月19日、11月29日	(社)宮城県建設業協会仙南支部ほか	参加総数278人
福島県	道路ふれあい月間清掃奉仕作業	6月1日～9月30日	県内全域	業界1,875人
茨城県	中学生体験学習	11月1日～11月18日	つくば市立筑波東中学校	業界15人、中学生87人
	献血(常総支部)	6月16日	茨城県建設業協会常総支部	業界69人、一般4人
	ふれ愛献血デー(竜ヶ崎支部)	2月19日	竜ヶ崎市保健センター	業界100人
	「道の日」清掃活動(鉾田支部)	8月10日	鉾田工事事務所	業界80人、一般22人、自治体28人
	JR古河駅周辺の清掃活動(境支部)	通年随時	境工事事務所管内(各地区ごと)	参加総数250人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	「道の日」道路清掃活動(潮来支部)	8月10日	神栖市内主要道路 (国道124号線)	業界50人、 自治体17人
	支援プロジェクト「風評に負けるな！茨城の心で愛の手を」(潮来支部)	5月1日～ 5月24日	潮来支部会員	会員45社
	エコキャップの回収(潮来支部)	7月21日～ 9月30日	潮来支部会員	会員45社
	ボランティア除草作業(太田支部)	7月15日、 11月2日	国道349号バイパス 周辺	参加総数60人
	大子町特別上映会(大子支部)	9月3日	大子町福祉会館 「まいん」	業界150人、 一般380人、 自治体10人
	「道の日」道路清掃(高萩支部)	8月10日	管内各路線	業界110人、 工事事務所25人
栃木県	「スポレクエコとちぎ2011」にブースを出店	11月5日、 6日	栃木県総合運動公園	参加総数 数万人
	防災訓練(那須支部)	12月5日	栃木県建設業協会 那須支部	業界70人、 一般10人、 自治体10人
	総合学習支援活動(那須支部)	11月28日	大田原市立大田原 小学校	業界20人、 一般96人
	那須のみまもり隊(那須支部)	9月20日	大田原土木事務所 管内の道路、砂防 施設等	業界38社
	風評被害による観光地宿泊支援(那須支部)	7月より	栃木県建設業協会 那須支部	業界38社
	高濃度汚染稲わらの隔離一時保管(那須支部)	10月より	那須町、那須塩原 市、矢板市	業界支部員
	愛ロード栃木清掃活動(塩谷支部)	6月8日～ 12月14日 (6回)	栃木県矢板市	業界24社
	愛ロード栃木清掃活動(日光支部)	5月18日～ 10月12日 (6回)	国道119号・120 号 日光市松原町 ～本町	業界155人
	クリーンアップキャンペーン(日光支部)	11月12日	国道121号・461 号 一級市道瀬川 森友線	業界59人、 一般23人
埼玉県	たたら祭り展示コーナーへの展示(さいたま支部)	8月7日～ 8日	埼玉県川口市青 木・川口オートレ ース場	参加総数600人
	黒目川・秋の川まつり(朝霞支部)	11月13日	朝霞県土整備事務 所	業界20人、 一般300人
	新河岸川放水路・びん沼環境浄化運動(川越支部)	6月26日	富士見市南畑地内	業界100人、 一般500人
	秋の清掃活動(比企支部)	10月29日	埼玉県比企郡滑川 町大字山田、福田 地内	業界25人、 自治体25人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	第8回ふれあい市野川クリーンアップ作戦(比企支部)	11月12日	吉見百穴前、市野川河川敷	業界30人、一般670人、自治体70人
	あっぱれ!熊谷流「ふるさとの森」第2回植樹祭(比企支部)	11月6日	熊谷さくら運動公園多目的広場	業界17人、一般745人、自治体33人
	道路環境美化作業(北埼玉支部)	12月16日	国道125号バイパス(加須警察入口~三俣交差点)	業界20人
	防災について考えよう 応急組立橋見学会・CCIこしがや(越谷支部)	11月14日	越谷レイクタウン	業界200人、一般750人、自治体50人
千葉県	「前川」県管理区域清掃活動(市原支部)	11月12日	前川河川敷周辺	業界48人
	我孫子市利根川河川敷清掃活動(東葛支部)	11月12日	我孫子市利根川河川敷周辺	
	大津川及び河川敷清掃活動(柏市)(東葛支部)	9月24日	銚子マリーナ後背地、臨海道路等	参加総数57人
	上葛飾橋周辺地域清掃活動(松戸市)(東葛支部)	9月10日	大津川及び河川敷周辺地域	参加総数70人
	「防災教育セミナー」開催(館山市)(東葛支部)	8月28日	松戸市上葛飾橋周辺の江戸川河川敷	参加総数70人
	一宮川河口クリーン事業(長生支部)	10月23日	二級河川「一宮川」河口右左岸周辺	参加総数500人
	袖ヶ浦姉崎線南総昭和線周辺清掃活動(君津支部)	10月17日	袖ヶ浦姉崎線及び南総昭和線沿いの歩道及び側道	参加総数57人
	清掃活動(館山支部)	7月26日	館山市南総文化ホール	参加総数300人
	市原市国道297号線バイパス沿線清掃活動(市原市)(市原支部)	7月16日	市原市国道297号バイパス市原インターから三又まで	参加総数57人
	清掃活動(いすみ支部)	7月12日	いすみ市岬町和泉地崎三軒屋海岸	参加総数33人
	草刈・清掃活動(山武支部)	7月11日	山武市本須賀海水浴場~殿下海水浴場	参加総数72人
	「いなげの浜」清掃活動(千葉市)(千葉支部)	7月9日	千葉市稲毛海岸「いなげの浜」約2.5km	参加総数300人
	鴨川市前原~横渚海岸清掃活動(鴨川市)(鴨川支部)	7月6日	鴨川市前原から横渚海岸約2kmの砂場及び防災林周辺	参加総数44人
	香取市黒部川左岸清掃活動(香取市)(香取支部)	6月28日	合同水防訓練会場付近	参加総数50人
	舞浜護岸ボランティア清掃活動(浦安市)(京葉支部)	6月26日	浦安市舞浜2丁目旧江戸川舞浜高潮堤防護岸	参加総数66人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	大網白里海岸清掃活動等（大網白里町）（山武支部）	6月24日	大網白里町津波ゲート、九十九里有料道路周辺	参加総数 150人
	支部管内一斉清掃活動（佐倉市、成田市）（北総支部）	6月21日	管内幹線道路	参加総数 59人
	富津海水浴場清掃活動（富津市）（君津支部）	6月13日	富津海水浴場周辺	参加総数 60人
東京	普通救命講習会・上級救命講習会	2月9日、6月15日、9月2日、9月21日	東京建設会館会議室、京橋消防署	参加総数 101人
	まちづくり展 2011	9月26日～28日	新宿駅西口広場イベントコーナー	業界 2,000人、一般 9,600人、自治体 400人
新潟県	土木の日記念フェスティバル(新発田支部)	11月23日		業界 33人、一般 8,000人
	「三方良しの公共事業改革」講演会(新潟支部)	8月8日		業界 94人
	クリーン作戦(巻支部)	11月3日		参加総数 150人
	環境美化活動(三条支部)	5月8日		業界 5人、一般 200人
	TeamE C O参加活動(三条支部)	6月18日		業界 5人、一般 200人
	信濃川クリーン作戦(三条支部)	11月20日		業界 6人、一般 100人
	土木フェスティバル(長岡支部)	10月2日		
	親しもう！ふれ合おう！建設業！（与板支部）	11月3日		業界 13人
	建設経営講習会(魚沼支部)	2月21日		参加総数 70人
	土木フェア(魚沼支部)	10月23日		業界 19人
	環境美化活動(魚沼支部)	通年		
	十日町雪まつり雪上カーニバル舞台制作(十日町支部)	1月21日～2月24日		業界 31人、一般 30,000人
	救急救命講習会、救急用テント・AED贈呈(六日町支部)	2月、11月29日		
	歩くスキーフェスティバル(六日町支部)	2月27日		参加総数 800人
	学生による「柏崎に関する研究」発表会(柏崎支部)	2月24日		参加総数 140人
	海岸清掃(柏崎支部)	6月10日		業界 22人
	ぎおん柏崎まつり「海の大花火大会」花火打上げ事業(柏崎支部)	7月6日		
	越後、大島ほたるロード(安塚支部)	2月26日		
	牧っこ秋まつり(安塚支部)	11月3日		業界 5人
	くびき牛炭火焼きフェア(安塚支部)	10月2日		参加総数 420人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	万内川砂防公園サマーフェスティバル(上越支部)	7月30日		参加総数 1,000人
	クリーンアップ上越(上越支部)	4月10日		業界 8人、 一般 330人
	清掃活動(糸魚川支部)	7月7日		業界 17人、 一般 41人
	日本海クラシックカーレビュー(糸魚川支部)	9月3日～ 4日		業界 13人、 一般 20,000人
	桜の害虫駆除対策(糸魚川支部)	3月24日		業界 18人、 一般 26人
	わたしたちのくらしと土木の働き(糸魚川支部)	11月9日		
	佐渡トキマラソン大会 2010(佐渡支部)	3月27日		参加総数 2,173人
	一日美化デー(佐渡支部)	8月25日		業界 5人、 一般 39人
	佐渡市スポーツ振興財団(佐渡支部)	通年		
長野県	「小満祭」ゴミ拾い(南佐久支部)	5月23日	佐久市臼田	参加総数 35人
	「よいやさ」ごみ拾い(南佐久支部)	8月7日	佐久市臼田	参加総数 31人
	高原病性鳥インフルエンザ等家畜伝染病防疫演習(佐久支部)	11月22日	小諸市長野県農業 大学校(小諸キャンパス)	業界 30人、 参加総数 250人
	丸子修学館高等学校生徒の丁張実習技術指導(上小支部)	5月20日	丸子修学館高等学校	業界 13人、 生徒 23人、 担当教師 1人
	上田千曲高等学校生徒の現場見学会(上小支部)	5月26日	上田川と道の駅 上田市南部クリーンパーク(下水道処理場)	業界 1人、 生徒 37人、 担当教師 2人、 関係機関 8人
	丸子修学館高等学校生徒の企業研修(上小支部)	10月18日	平成 22 年度社会 資本整備総合交付 金工事、平成 22 年度国補災害関連 救急砂防工事、上 田産院移転新築事 業産院建築主体工 事、川西自治セン ター建設工事	業界 4人、 生徒 13人、 担当教師 1人
	第 16 回建設旗争奪「上小中学校 1 年生野球大会」(上小支部)	10月29日 ～30日	東御市立東部中 学校、東御市中央 グラウンド、上 田市立丸子北中 学校、上田市立 第一中学校	業界 10人、 生徒 300人、 先生・一般 150 人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	上田千曲高等学校生徒の現場見学会(上小支部)	10月31日	東御市田中公民館、東御市田中地区、東御市海野宿、上田市JT跡地上田警察署新築工事	業界1人、生徒37人、担当教師2人、関係機関6人
	道路・歩道清掃活動(諏訪支部)	5月12日	茅野市内	業界123人
	献血(諏訪支部)	6月2日、7日、9日	長野県赤十字献血センター諏訪出張所	業界46人
	諏訪湖アダプトプログラム活動(諏訪支部)	6月25日、8月26日、10月31日	諏訪湖岸	業界25人
	道路クリーン作戦(伊那支部)	6月16日	上伊那管内全域	業界305人、自治体94人
	田沢川の親水護岸工付近護岸清掃(伊那支部)	7月22日	駒ヶ根市、田沢市、田の坂付近	業界55人、一般20人、自治体25人
	献血事業(飯田支部)	6月30日、11月9日	飯田建設会館、下條村村民センター	業界179人
	河川アダプトプログラム河川美化活動(飯田支部)	7月30日、10月15日	松川と野底川の合流点付近	業界18人
	飯田長姫高等学校土木科・建築科現場研修会(飯田支部)	11月17日	飯田市松川ダム再開発事業、飯田市羽場大瀬木線新松川大橋上部工、阿智療護園、特別養護老人ホーム阿智荘、二ツ山団地	業界2人、一般72人、自治体1人
	木曾支部が行うボランティア活動(木曾支部)	10月6日	(北部)国道361号伊那木曾連絡道路木曾町日義神谷ランプ橋下～権兵衛トンネル前、(南部)国道256号南木曾町清内路トンネル前	業界28人、自治体27人
	平成23年度春季ふれあい献血活動(松筑支部)	5月20日	(株)松筑建設会館	業界102人、一般3人、自治体5人
	道路クリーンキャンペーン活動(松筑支部)	8月4日	主要地方道路松本環状高家線	業界68人、自治体16人
	平成23年度秋季ふれあい献血活動(松筑支部)	11月11日	(株)松筑建設会館	業界106人、自治体5人
	クリーンアップ安曇野(松筑支部)	6月16日	安曇野市堀金鳥川	業界37人、自治体22人
	一級河川農具川環境整備(草刈)(大北支部)	6月21日	一級河川農具川の薬師橋～おおささ橋間約1.9km両岸	業界55人、自治体2人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	道路環境整備（草刈）（大北支部）	7月7日	大町建設事務所管内の国道148号及び県道3路線の延長約34km	業界64人、自治体16人
	アダプトプログラム活動としてアレチウリの駆除（大北支部）	9月2日	一級河川乳川北安曇野郡松川村神戸橋から矢地橋の2km間	業界31人、自治体9人
	「千曲市第5回みんなで育てる協議の森づくり・森林文化体験学習会」、「第5回大池市民の森感謝祭」（大北支部）	5月14日、10月8日	千曲市八幡、大池市民の森	業界14人
	春の道路清掃（国道406号線）（須坂支部）	4月21日	管内主要道路	業界13社、自治体19人
	県道の植栽に花を植え年間を通じ管理（中高支部）	3月24日～11月12日	中野市七瀬地区国道403号線	業界142人、一般27人、自治体46人
	第13回「建設で献血だ！」（長野支部）	4月4日	長水建設会館	業界81人
	春のゴミゼロ運動（長野支部）	5月25日	裾花川左岸長野保健所～裾花橋	業界21人
	建設業美化事業ボランティア（長野支部）	6月22日	支部管内県道・市町村道25ヶ所	業界25人、自治体25社
	第6回けんせつ杯中学生軟式野球大会（長野支部）	10月8日、9日	長野信金グラウンド、千曲市中央公園グラウンド、豊野東山第一運動場、豊野東山第二運動場	業界123人、一般700人
	秋のゴミゼロ運動（長野支部）	10月14日	裾花川左岸長野保健所～裾花橋	業界22人
	第14回「建設で献血だ！」（長野支部）	11月8日	長水建設会館	業界69人
	平成23年度フラワーロード事業（飯山支部）	6月13日、7月11日、8月1日、8月8日	国道117号線沿い	業界15人、一般1,400人、自治体100人
静岡県	道路愛護月間（下田建設業協会）	8月26日	下田市及び賀茂郡の主要幹線道路	業界129人
	平成23年度「道路ふれあい月間」奉仕活動（富士建設業協会）	8月12日	富士市・富士宮市内	業界73人
	親子現場見学会（富士建設業協会）	10月30日	静岡県田子の浦港	業界4人、一般46人
	道路美化運動清掃活動（清水建設業協会）	8月4日	清水区中心街さつき通り	業界70人
	親子現場見学会（清水建設業協会）	8月26日	静岡県清水港内新興津第2バース	業界5人、一般20人
	「小さな親切運動」静岡県本部清掃活動（清水建設業協会）	5月14日	清水区興津川口付近一帯	業界100人、一般200人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	地域あんしん住まい応援隊(清水建設業協会)	9月16日	清水区内の高齢者世帯	業界21人、民生児童委員30~40人
	道路点検・清掃活動	8月10日	中心市街地幹線道路周辺	業界149人、自治体350人
	河川美化清掃活動	7月15日	二級河川巴川堤防	業界86人
	安倍川流着クリーン作戦	11月20日	安倍川親水公園周辺の河川敷	業界165人
	親子現場見学会	7月23日	新東名工事現場	業界5人、一般60人
	平成23年度建設業者県下一斉美化運動	8月26日~10月14日	静岡県内	業界540人
	道路愛護運動(島田建設業協会)	7月2日~9月13日	島田建設業協会管内の県・市・町道	業界300人
	河川美化清掃活動(島田建設業協会)	7月15日	二級河川巴川堤防	業界86人
	親子現場見学会(島田建設業協会)	8月20日	東京ゲートブリッジ、羽田空港新国際線ターミナル	業界1人、一般96人
	平成23年度建設業者県下一斉美化運動(島田建設業協会)	8月26日~10月14日	静岡県内	業界540人
	親子現場見学会(島田建設業協会)	8月5日	静岡県伊豆市コマツテクノセンター	業界4人、一般55人
	交通安全運動活動(島田建設業協会)	5月、7月、9月、12月	島田建設業協会管内	業界360人
	道路愛護運動(袋井建設業協会)	6月29日~8月26日	袋井建設業協会管内の県道、市町村道	業界311人
	河川愛護運動(袋井建設業協会)	7月6日~8月11日	袋井建設業協会管内の県道、市町村道	業界190人
	親子現場見学会(袋井建設業協会)	8月24日	一般県道袋井春野線森川橋上部工事現場	業界12人、一般43人
	協会員による献血活動(袋井建設業協会)	10月4日	袋井建設業協会會館	業界46人
	道路、河川等除草・清掃(浜松建設業協会)	8月5日	市内各所	業界86人
	親子現場見学会(浜松建設業協会)	10月29日	遠州鉄道上島駅周辺高架橋工事(浜松市)、上島1号雨水幹線工事(浜松市上下水道部)	業界15人、一般98人
	道路の草刈り(天竜建設業協会)	7月29日	国道152号半島~本町地内	業界11人
	静岡県道路利用者会議浜松支部の「道路ふれあい月間」の道路環境美化活動(天竜建設業協会)	8月11日	国道152号、362号、473号	業界65人、自治体20人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	静岡県道路利用者会議浜松支部の「道路ふれあい月間」の道路環境美化活動(天竜建設業協会)	8月26日	国道473号ほか4路線	業界40人
	親子現場見学会(天竜建設業協会)	8月5日	新東名工事浜北IC~引佐IC	業界3人、一般31人
	親子現場見学会(三島建設業協会)	8月20日	東京ゲートブリッジ、羽田空港新国際線ターミナル	業界1人、一般96人
	ジオサイト発見準備ツアー(三島建設業協会)	11月19日	静岡県立伊豆総合高等学校	業界23人、一般7人
	親子現場見学会(沼津建設業協会)	8月4日	静岡県伊豆市コマツテクノセンター	業界16人、一般140人
	献血(沼津建設業協会)	1月14日、7月12日	沼津建設業協会駐車場	業界132人、一般34人
三重県	河川・海岸美化ボランティア(会津支部)	7月2日	雲出伊倉津町雲出河川河口周辺	業界40人、自治体100人
	河川愛護月間に伴う員弁川河川清掃(桑員支部)	7月22日	桑名市からいなべ市藤原町までの員弁川堤防・河川敷	参加総数280人
	平成23年度道路美化ボランティア活動(四日市支部)	8月30日、9月6日	四日市市羽津・大矢知・中村・広永・智積町、菰野町、朝日町、川越町	業界106人
	鳥インフルエンザ防疫研修訓練(鈴鹿支部)	3月9日	鈴鹿市国府町中学校建設予定地	業界60人、自治体40人
	ふれあいの道事業(鈴鹿支部)	6月10日、9月5日、11月4日	鈴鹿環状線(中央道路)	業界32人、自治体40人
	土嚢作成と保管場所一斉点検作業(鈴鹿支部)	6月10日~12日	鈴鹿市防災センター	業界70人、自治体40人
	第15回すずかフェスティバル出展参加(鈴鹿支部)	8月7日	鈴鹿ハンター弁天山公園	業界10人、一般3,000人、自治体40人
	ふれあいの道清掃奉仕作業(亀山支部)	7月22日、9月22日、12月20日	亀山支部	業界33人
	道路清掃美化ボランティア活動(一志支部)	7月13日、10月12日	国道165号線、県道久居美杉線、県道白山小津線	業界31人、自治体100人
	氏郷まつり(松坂支部)	11月3日	松阪市内	業界10人
	勢田川七夕大掃除(伊勢支部)	7月3日	伊勢市内	業界10人
	五十鈴川河川清掃奉仕作業(伊勢支部)	12月9日	伊勢市五十鈴川両岸	業界77人、自治体33人
	道路美化ボランティア活動(志摩支部)	10月1日、11月26日	一般国道167号鳥羽~磯部間	業界46人
	道路美化ボランティア活動(伊賀支部)	9月16日	伊賀市、名張市管内一円	業界76人
	赤羽川河口左岸河川敷の草刈り(尾鷲支部)	11月6日	紀北町紀伊長島区内	業界35人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	地元行事「きほく七夕物語」の作業協力(尾鷲支部)	7月2日、3日	紀北町海山区便ノ山銚子川護岸	業界11人、一般40人
	道路美化ボランティア活動(尾鷲支部)	7月15日	紀北町海山区内県道	業界30人
	地元行事「おわせ港まつり」前日の清掃活動(尾鷲支部)	8月3日	尾鷲市港町周辺	参加総数150人
	高台の津波避難場所の整備作業(尾鷲支部)	8月18日	紀北町紀伊長島区西町	業界10人
	海岸清掃(尾鷲支部)	11月6日	熊野市井出町の旧消防署下から熊野市有馬町の花の窟神社前にかけての七里御浜海岸	業界10人、一般240人、自治体50人
石川県	「全国建設青年の日」のPR活動	7月31日	石川県金沢市	業界7人、一般80人
	保育園児とのふれあい活動(加賀建設業協会)	5月19日	加賀市別所町わかたけ保育園	業界20人、一般180人
	夏休み親子ふれあい木工教室(加賀建設業協会)	8月27日	小松市那谷町かが森林組合那谷工場	業界8人、一般33人
	梯川ゴミ拾い(小松能美建設業協会)	9月17日	石川県小松市梯川沿川	業界100人、一般650人、自治体50人
	道路クリーン作戦(小松能美建設業協会)	8月10日	一般国道305号、主要地方道金沢美川小松線外	業界16人、一般23人、自治体55人
	こまつ水辺クリーンデー(小松能美建設業協会)	3月27日	小松市木場湯、前川、梯川、八丁川、鍋谷川	参加総数3,000人
	献血奉仕活動(小松能美建設業協会)	11月21日	小松能美建設業協会	業界80人
	JICA 青年研修事業(小松能美建設業協会)	11月22日	小松能美建設業協会、小松大谷高校工事現場	業界6人
	標高差2702mクリーン大作戦(白山・石川建設業協会)	5月29日～8月9日	松任徳光海岸、管内道路、白山	業界590人、一般6人、自治体63人
	梅雨を前に土のう造り(白山・石川建設業協会)	6月15日	白山市運動公園駐車場	業界40人
	公共土木施設等マネジメント協定(石川土木総合事務所と締結)、白山市道維持管理協定(白山市と締結)に基づく道路パトロール(白山・石川建設業協会)	8月29日	白山市道及び県道	業界25人
	「小学生の見た建設の絵」募集・展示(羽昨郡市建設業協会)	7月21日～11月11日	羽昨市、宝達志水町、志賀町	
	献血活動(羽昨郡市建設業協会)	1月25日	羽昨勤労者総合福祉センター	参加総数59人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
福井県	足羽川流域環境保全（美山地区）清掃活動、鷹巣・鮎川海水浴場清掃活動、一乗谷（足羽）地区道路清掃活動、九頭竜川河川敷清掃活動、足羽川河川敷清掃活動、九頭竜川河川敷清掃活動（福井地区建設業会）	7月～8月	足羽川河川敷、一乗谷（足羽）地区、九頭竜川河川敷（森田地区）、鷹巣・鮎川海水浴場	業界 375 人
	夏休みドキドキ・ワクワク体験教室（福井地区建設業会）	7月～8月	福井市殿下地区	
	平成 23 年度「道守」活動事業（坂井郡建設業協会）	7月 15 日	福井県坂井地区の県道	業界 130 人、自治体 20 人
	道路・河川等清掃奉仕活動（若狭地区建設業会）	11月 18 日	福井県大飯郡高浜町和田「安土山公園」	業界 60 人
滋賀県	交通遺児及びその家族に対し寄付	11月 11 日	滋賀県大津市	業界 76 人
	平成 23 年度大津市総合防災訓練（大津支部）	9月 25 日	滋賀大学教育学部	参加総数 2,000 人
	合同災害訓練 6.16（大津支部）	6月 16 日	大津市葛川町居町地崎資材置き場	業界 100 人
	大津支部社会貢献活動（大津支部）	8月 27 日	琵琶湖畔サンシャインビーチの清掃	業界 27 人
	琵琶湖を美しくする運動一斉清掃（大津支部）	7月 3 日	大津市内全域	業界 174 社、一般・自治体 74,140 人
	大規模地震発生時の応急救援・初動訓練（湖南支部）	7月 5 日、12月 26 日	湖南建設会館、南部土木事務所、県防災ステーション（草津川・金勝川の合流河川敷）、各 4 市の被害想定現場（草津市・栗東市・守山市・野洲市）	業界 63 人、一般 30 人、自治体 25 人
	滋賀県湖南広域消防局との消防活動に係る合同訓練（湖南支部）	12月 5 日	(株)アヤシロ栗東支店岩石採取場	業界 20 人、自治体 19 人
	エコキャップ推進運動（湖南支部）	9月 22 日	湖南支部事務所	業界 42 社
	近江を美しく清掃活動（湖南支部）	5月 21 日	草津市「サンサン通り」	業界 13 人
	甲賀土木事務所「勤務時間内」大規模地震発生時の初動訓練（甲賀支部）	6月 27 日	国道 307 号線	業界 31 人、自治体 7 人
	平成 23 年度「びわ湖の日」清掃活動（彦根支部）	6月 26 日	彦根市矢倉川河口両岸	業界 31 人、参加総数 1,620 人
	びわ湖岸の清掃（長浜支部）	10月 12 日	長浜市田村町地先から高橋町地先	業界 55 人
国道 303 号線沿い、植栽工整備景観改善（伊香支部）	10月 5 日	長浜市木之本町田部	業界 11 人	

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	国道 303 号線沿い植栽工整備景観改善(高島支部)	8 月中旬	マキノ町、今津町、新旭町、朽木、高島町	業界 60 人、一般 100 人、自治体 3 人
	環境美化活動(高島支部)	11 月 29 日	マキノ浜、今津浜、新旭浜、安曇川浜、高島浜	業界 44 人、自治体 45 人
兵庫県	第 5 回建設ふれあいまつり	7 月 23 日	兵庫建設会館および隣接する広場	業界 60 人、一般 440 人
	平成 23 年度全県一斉奉仕作業	6 月 1 日～1 ヶ月間	県内各地	業界 1,517 人
	地域安全まちづくり活動の推進	通年	県下各地域	業界 557 社
	全国建設青年の日「夏休み子ども工作教室」(淡路支部)	8 月 20 日	南あわじ市三原公民館	業界 16 人、一般 24 人
	高所作業車から満開のコスモスを見よう(尼崎支部)	11 月 19 日、20 日	髭の渡しコスモス園	業界 20 人、一般 700 人
鳥取県	平成 23 年度河川愛護月間河川清掃	8 月 5 日	一級河川天神川水系絵下川	業界 14 人、一般・自治体 100 人
	河川清掃(日野支部)	8 月 5 日	日野管内の日野川流域	業界 120 人
	ボランティア・ロード清掃活動(東部支部)	7 月 22 日、10 月 14 日	鳥取市南隈	業界 37 人
	植樹帯除草作業(中部支部)	7 月 2 日	道の駅ポート赤碕西側	業界 41 人
	「クリーンアップ in 加茂川 2011」(西部支部)	7 月 24 日	旧加茂川	業界 10 人、参加総数 250 人
島根県	第 12 回ふるさとまるごとクリーンアップ作戦	7 月 29 日	県下 10 地区	業界 200 人、自治体 110 人
岡山県	道路ふれあい月間第 22 回道路清掃(津山支部)	8 月 28 日	津山市内	業界 15 人、一般 1,600 人、自治体 180 人
徳島県	四国遍路みち清掃活動	7 月 29 日	四国八十八ヶ所のうち 24 寺	業界 554 人
	特別講演会	7 月 29 日	徳島県建設センター	業界 50 人、一般 150 人、自治体 15 人
	日本大震災から学ぶ災害対応研修	7 月 29 日	徳島県建設センター	業界 120 人、一般 20 人、自治体 25 人
高知県	河道閉塞対応訓練	1 月 26 日	すこやかセンター伊野	業界 10 人、自治体 50 人
	北方領土の日街頭キャンペーン	2 月 6 日	高知中心街	業界 10 人、一般 100 人、自治体 20 人
	「県民一斉清掃活動月間」清掃活動	2 月 6 日	高知市	業界 70 人
	青年部・女性部献血活動	3 月 5 日	イオンモール高知	業界 20 人、一般 100 人、自治体 10 人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	「88 クリーンウォーク」清掃活動	8月8日	県内全域	業界540人、 その他多数
	高校生の現場実習	8月18日～ 25日	高知市及び高知市 近郊	一般11人
	協会女性部ボランティア活動	10月6日	佐川町いこいの里 「たんぽぽ」	一般16人
	高校生の現場実習	12月15日、 16日	高知市、南国市	一般22人
	高校生の現場見学会	11月16日、 17日、24 日、 12月8日	高知市	一般144人
	道路清掃ボランティア(安芸支部)	4月7日、 11月18日	安芸支部関係県道	業界71人、 自治体31人
	高校生現場実習(安芸支部)	11月21日 ～22日	安芸市	一般13人
	GPS携帯による災害対策訓練(高吾 北支部)	6月1日	高知県越知土木事 務所管内の県管理 道路及び河川	業界20人、 自治体23人
	防犯パトロール(高吾北支部)	毎月1回、 12月22日	高吾北支部所管	業界延200人
	高知県幡多土木事務所若手育成事 業(中村支部)	7月23日	四万十市内の四万 十川沿いの休憩所 等6ヶ所	業界15人、 その他多数
	防犯パトロール(中村支部)	8月6日、 11月22日	四万十市内の四万 十川沿いの休憩所 等6ヶ所	業界53人
	防犯パトロール(宿毛支部)	7月30日、 10月30日	宿毛市	業界44人
	防犯パトロール(高陵支部)	8月6日	須崎市	業界27人
	防犯パトロール(高幡支部)	8月13日、 12月7日	四万十町	業界15人
	高知県総合防災訓練(南国支部)	9月4日	南国市吾岡山	業界20人、 その他多数
	高原病性インフルエンザ対策訓練 (南国支部)	10月19日	南国市吾岡山	業界20人、 その他多数
	防犯パトロール(南国支部)	12月22日	南国市	業界18人
	年末特別防犯パトロール(嶺北支 部)	12月7日	嶺北支部管内	業界8人
	年末特別防犯パトロール(高知支 部)	12月22日	高知市	業界26人、 自治体4人
	防犯パトロール(高知支部)	5月・7月・ 11月を除 く毎月	高知市	業界138人、 一般2人、 自治体17人
	協会防犯パトロール(高知支部)	毎月2回	高知市	業界延150人
	「浦戸湾・七河川一斉清掃」(高知 支部)	7月10日	高知市	業界96人、 その他多数

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	地域防犯活動(土佐清水支部)	毎月	土佐清水支部所属 会員の会社近辺の 交差点	参加総数 1 回 20~30 人
	地域防犯活動(伊野支部)	4月21日~ 12月16日	伊野支部所管の4 町村の小学校	業界 70 人
福岡県	献血活動	11月1日~ 12月28日	福岡市・北九州 市・久留米市	参加総数 418 名
	高校生現場見学会	9月22日、 11月4日、 9日、10日、 17日	福岡県立浮羽工業 高校、市立大牟田 高校、福岡県立福 岡工業高校	参加総数 168 名
佐賀県	幼稚園及び保育園の「砂場クリーン作戦」	10月29日	県内 11ヶ所	業界 78 人、 一般 377 人
	第 5 回津の里子ども祭り	2月20日	牛津保険福祉セン ター「マイル」	業界 25 人、 一般 370 人
	芝生の広場造り(建設業協会佐賀)	6月10日	北部保育園	業界 45 人、 一般 34 人
	地域ボランティア活動(神崎建設業協会)	5月24日	神埼町中心地区	業界 14 人
	カーブミラー清掃活動(鳥栖建設業協会)	5月19日	鳥栖市内	業界 12 人、 一般 43 人
	少年野球教室(唐津建設業協会)	12月10日	唐津市野球場	業界 20 人、 一般 180 人
	土木の日記念事業「サクラの木」植樹(伊万里建設業協会)	11月21日	井手口ダム周辺	業界 26 人、 一般 6 人
	杵島建設業協会ボランティアの日(杵島建設業協会)	8月19日	武雄市橋小学校周 辺	業界 25 人、 一般 10 人、 自治体 3 人
	献血推進活動(杵島建設業協会)	10月18日	杵島建設業協会	参加総数 99 人
	地域貢献活動奉仕作業(藤津建設業協会)	6月14日、 7月15日	太良町白浜海水浴 場、嬉野浄化セン ター周辺、ガード レール清掃	業界 42 人
長崎県	2011 まちづくり総合住宅フェア(長崎支部)	10月22日、 23日	おくんち広場	業界 22 人、 その他多数
	DOVOC フェア 2011「浜町土木パネル・模型展(長崎支部)	11月12日	浜町バルナード観 光通り	業界 33 人、 その他多数
	土木の日イベント「親子ふれあい体験」(長崎支部)	11月6日	佐世保市	業界 92 人、 一般 3,000 人、 自治体 10 人
	土木の日「土木とのふれあい in 県北 2011」(北部支部)	11月6日	田平公園運動広場	業界 60 人、 一般約 400 人、 自治体 2 人
	諫早市民大清掃における支援協力(諫早支部)	8月7日	諫早市内一円	業界 150 人、 一般 29,500 人、 自治体 62 人
	愛の献血運動(諫早支部)	5月11日		業界 80 人

協会名	活動内容	実施日	実施場所	参加人数等
	ボランティア長崎 in 本明川(諫早支部)	随時	本明川	業界 8 人、 一般 400 人、 自治体 8 人
	おおむら秋まつり(大村支部)	12 月 4 日	シーハット大村	業界 100 人、 一般 50 人、 自治体 100 人
	大規模災害発生時における支援活動(社会貢献)に基づく通報訓練(対馬支部)	12 月 13 日	対馬振興局及び建設業協会対馬支部	業界 27 人、 自治体 9 人
	第 19 回土木の日現場見学バスツアー(五島支部)	11 月 12 日	五島	業界 8 人、 一般 39 人、 自治体 2 人
	第 20 回記念土木の日キャンペーン(五島支部)	11 月 20 日	新上五島町石油備蓄記念会館	業界 50 人、 一般 800 人、 自治体 25 人
宮崎県	奉仕活動土木の日各種イベント開催	6 月～11 月、 11 月 18 日	県内 11 ヶ所の小学校ほか	業界 220 人、 一般 449 人、 自治体 30 人
鹿児島県	桜島火山爆発総合訓練	1 月 21 日～ 2 月 24 日	JR 九州鹿児島駅隣接地会場、赤水みなと公園	業界 60 人
沖縄県	2011 イリオモテヤマネコと稀少動物たちを守ろう! 絵画コンクール及び絵画展	11 月 22 日 ～12 月 2 日	竹富町西表島、仲間港旅客ターミナル	業界 5 人、 生徒 18 人、 自治体 5 人

※本会が実施したアンケート調査の回答をもとに取りまとめています。

(3) 功労者表彰

「建設業社会貢献活動推進月間」において、次に掲げる協会・支部等（21 団体）及び会員企業（29 件、32 社）が、建設業社会貢献活動功労者として表彰されました。

○功労者表彰受賞者 — 協会・支部等（規程第3条関係） —

表彰分類	受賞者（協会・支部等）	都道府県
災害復旧支援活動	(社)岩手県建設業協会 盛岡支部	岩手県
	(社)長野県建設業協会 飯山支部	長野県
防災支援活動	(社)栃木県建設業協会 芳賀支部	栃木県
	(社)群馬県建設業協会	群馬県
	(社)滋賀県建設業協会	滋賀県
環境美化活動	(社)栃木県建設業協会 足利支部	栃木県
	(社)長野県建設業協会 伊那支部	長野県
	(社)三重県建設業協会 志摩支部	三重県
	(社)白山・石川建設業協会	石川県
	(社)山口県建設業協会 山口支部	山口県
	(社)高知県建設業協会 高知支部	高知県
環境保全活動	(社)平鹿建設業協会 建青会	秋田県
建設業ふれあい活動	(社)茨城県建設業協会	茨城県
	(社)新潟県建設業協会 長岡支部	新潟県
	(社)加賀建設業協会 土木委員会	石川県
	(社)兵庫県建設業協会 淡路支部青年部会	兵庫県
社会福祉活動	(社)高知県建設業協会 中村支部	高知県
	(社)建設業協会佐賀	佐賀県
防疫活動	(社)三重県建設業協会 伊勢支部	三重県
	(社)三重県建設業協会 熊野支部	三重県
	(社)奈良県建設業協会 五條支部	奈良県

○功労者表彰受賞者 — 会員企業（規程第4条関係） —

表彰分類	受賞者（会員企業）	都道府県
災害復旧支援活動	茅沼建設工業(株) (株)新町組	北海道 鹿児島県
防災支援活動	宮坂建設工業(株) 田中建設(株)	北海道 青森県
環境美化活動	(株)瀬越組 丸井重機建設(株) (株)南建設 阿部建設(株) (株)大沼組 石川建設(株) (株)井出組 常盤工業(株) 須山建設(株) 玉井建設(株) (株)川嶋建設 (株)東組 (株)佐藤工務所 (株)三幸工務店 大之木建設(株)	北海道 青森県 青森県 宮城県 秋田県 群馬県 静岡県 静岡県 静岡県 京都府 兵庫県 和歌山県 島根県 岡山県 広島県
環境保全活動	東城建設(株) 大高建設(株) (株)岡部 (株)関口組 (株)桑原組	富山県 滋賀県
建設業ふれあい活動	草野作工(株) 菅野建設工業(株) 此川建設(株) 坂川建設(株)	北海道 福島県 富山県 福井県
社会福祉活動	萩原建設工業(株) 開発工建(株) (株)中村組 ミタニ建設工業(株)	北海道 北海道 静岡県 高知県

3. 社会貢献活動の事例 — 功労者表彰受賞者の活動事例から抜粋 —

3. 1 代表的な活動事例

ここでは、平成 23 年度に顕彰した活動事例のうち、代表的なものとして「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」で事例発表された次の 2 事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部・企業名等	活動内容
B2-01	北海道	宮坂建設工業(株)	地域住民参加型防災訓練の実施
B4-01	富山県	東城建設(株)他3社	自然をつなぐ「学校ビオトープ」づくり

(1) 地域住民参加型防災訓練の実施（宮坂建設工業(株)）

事例 B2-01：北海道

地域住民参加型防災訓練の実施（宮坂建設工業(株)）

宮坂建設工業(株)が本社を置く帯広市は、広大な十勝平野の中央部に位置し、機械化された大規模農業により、国内有数の農作物生産地となっている。また、冷涼少雨で日照時間が長い大陸性気候を活かして、「十勝川西長いも」「大正メイクイン」など、食のブランド化の取組みも進められている。

一方、十勝地方は自然災害の多発地域でもある。数十年周期といわれる十勝沖地震による災害、数年おきに発生する台風など大雨による土砂崩れや道路損壊、また、十勝岳、雌阿寒岳などの火山噴火による被害、大雪による雪害など、災害の種類も多岐にわたっている。

■地域防災の取組み

自然災害の多い十勝地方を事業基盤とする同社は、台風等の異常気象時や、地震災害発生時には、速やかに対策本部を設置して、協力会社を含め 24 時間いつでも出動できる体制を整えている。また、平成 5 年より毎年防災訓練を実施しており、釧路沖地震や台風、大雪の際には、各地で迅速な復旧活動を行うことができた。

しかし、平成 15 年に発生した十勝沖地震 (M8.0) では、約 38 万世帯が停電や断水の被害を受け、交通網も各地で寸断されて、復旧までに数ヶ月かかるなど、道東地方の広範囲に被害が拡大した。同社は、この地震への対応を通じて、近年の大規模災害時に地域の安全を確保するためには、自治体や企業の取組みに加えて、住民一人ひとりの日頃からの高い防災意識が欠かせないことを痛感した。そ



十勝沖地震の被害を伝える記事

こで、従来から行っていた防災訓練の内容を大幅に見直し、この年から地域住民と一体となった「地域住民参加型」の訓練を取り入れることにした。

平成 22 年度の防災訓練は、9 月 3 日、帯広、札幌、北見の 3 カ所で同時開催した。訓練は朝と昼の二部構成で、第一部は同社単独の初期対応訓練、第二部が地域住民参加型訓練である。

■初期対応訓練

第一部は、震度 5 強の地震発生を想定した初期対応の訓練である。まず本社に災害対策本部を立ち上げ、テレビ会議で札幌支店、北見ヶ丘トンネル工事現場と連携を図り、河川点検、建物点検、現場点検パトロールを実施した。

同社の「災害対応マニュアル」では、震度 5 弱以上の地震発生時には、自治体等からの出動要請の有無にかかわらず、速やかに現地パトロールを実施して 30 分ごとに報告することを定めている。そのため、各パトロール班の班長は、

常に無線機・点検備品を車に搭載しており、速やかに出動できる態勢となっている。災害発生直後は携帯電話等の通信手段は通じ難いため、対策本部とパトロール班との連絡には、十勝全域をカバーできる業務用無線を使用している。また、被災による停電を想定して、対策本部となる本社には非常用電源設備を常設している。



防災訓練（帯広）の案内



災害対策本部の設置



河川点検パトロール

■地域住民参加型防災訓練

第二部は、地域住民参加型の訓練である。メイン会場となった帯広市中央公園には、地元町内会をはじめ、小学生、高校生を含む地域住民約 1,200 人が集まった。その中で、帯広警察署、帯広市消防本部、日立建機(株)の協力のもと水防訓練、重機作業の実演を行うとともに、地域住民による被災体験、防災活動体験などが繰り広げられた。



帯広市中央公園の防災訓練会場

水防訓練では、広域被災による交通規制を想定して、帯広警察署のパトカーの先導で緊急物資を搬入し、堤防決壊時の応急処置として広く用いられる月の輪工法・土納荒締切工法の実演施工を行った。こうした訓練を通じて日頃から関係部署と連携を図っていたことが、翌年3月の東日本大震災での支援物資の速やかな輸送につながるようになった。

重機の展示・実演コーナーでは、無線操縦の油圧ショベル、キャリアダンプの模擬運転や、日立建機(株)とNEDO(新エネルギー産業技術総合開発機構)が共同開発した2本のアームを持つ双腕作業機の実演展示を行った。普段は目にする事のない特殊な機械であり、市民の関心も高かった。

参加した小学生・高校生たちには、昔ながらのバケツリレーによる消火訓練や、実用的なロープ縛り、土納作成、AEDでの応急処置など、課外授業の一環として楽しみながら学習してもらった。特殊機械のシミュレーションコーナーでは、笑顔と歓声に包まれながら、ゲーム感覚で機械を操作していた。

火災発生時の煙体験コーナーでは、延長約7mのテント内を煙状の特殊な水蒸気で充満し、ビル火災からの避難の疑似体験を行った。



水防訓練（月の輪工法）



双腕作業機の実演



バケツリレーによる消火訓練



ロープ縛り訓練



三角巾による応急処置訓練

起震車での地震体験コーナーでは、過去に発生した関東大震災、十勝沖地震、新潟中越地震、南西沖地震、阪神淡路大震災等の大地震の揺れを体験できるほか、将来起こるであろう東海地震を想定した震度7の揺れも体験できた。



火災発生時の煙体験



起震車での地震体験

同社社員による炊き出し訓練では、出来上がったカレーライス・豚汁などを参加者に試食していただき、配膳・片付け方法などの課題を抽出した。

この他にも、遠隔操作で空中からの映像をリアルタイムに確認できる空中撮影システム「スカイキャッチャー」の実演や、防災パネルの展示、防災グッズの実演など盛りだくさんの内容であった。

一方、札幌会場では、発注者、協力業者、地域住民を交えて、千歳川にて油流出防止オイルフェンス設置訓練、堤防亀裂箇所へのシート養生訓練等を行い、北見会場（北見ヶ丘トンネル工事現場）では、北見警察署と合同で、土砂崩壊による生き埋めを想定した救助訓練を実施した。

同社は、この地域住民参加型防災訓練を毎年継続して行うことで、地域住民の防災意識の更なる向上に貢献していきたいと考えている。



炊き出し訓練後の試食



シート養生訓練（札幌会場）



トンネル内での救助訓練（北見会場）

(2) 自然をつなぐ「学校ビオトープ」づくり (東城建設(株)他3社)

事例 B4-01 : 富山県

自然をつなぐ「学校ビオトープ」づくり (東城建設(株)他3社)

富山県は、標高 3,000m級の立山連峰から水深 1,000mの富山湾まで、約 4,000mの高度差があり、立山のライチョウ、富山湾のホタルイカ、シロエビ、ブリ、ベニズワイガニなど貴重な生き物の生息場所として、世界に誇れる自然環境にある。

しかし近年、人の生活をより豊かで安全とするための様々な活動(治水事業、利水事業、発電事業、圃場整備事業など)によって貴重な自然環境が急速に失われつつあることも事実である。そこで、平成 12 年、こうした活動を生業としている県下の企業や団体の有志が集まり、人と自然との共生を目指して「富山県ビオトープ(biotope =生物の生息場所)研究会」を発足させた。研究会の会員数は現在約 30 で、建設業、造園業、漁協、農協、電力会社など様々な業種が参加している。

東城建設(株)、大高建設(株)、(株)岡部、(株)関口組の 4 社は、「富山県ビオトープ研究会」の第一部会メンバーとして、主に富山県の東部においてビオトープの保全、復元、創出、維持管理等の活動を行っている。

第一部会では、毎月の勉強会をはじめ、他県の先進事例の見学会や研究報告会を開催しているが、平成 14 年からは富山県内の「学校ビオトープ」づくりに積極的に取り組むようになった。

「学校ビオトープ」づくりは、学校の敷地内またはその周辺にビオトープを復元し、姿を消しつつあるメダカ、フナ、ゲンゴロウ、ホタル、キキョウ、オミナエシ等の動植物の生息環境を取り戻す活動である。これまでに富山市立月岡小学校、富山市立山室中部小学校、黒部市立三日市小学校、黒部市立宇奈月小学校の 4 校でビオトープづくりを手掛けてきた。



「富山県ビオトープ研究会」案内



三日市小学校のビオトープ



宇奈月小学校のビオトープ

■学校ビオトープのねらい

学校ビオトープのねらいは三つある。

第一は、子どもたちの身近な自然体験の場所としての機能。メダカが群れをなして泳ぐ姿を見たり、カエルが鳴く声を聴いたり、草の匂いを嗅いだり、食べられる野草を調べて調理して食べたりすることで、子どもたちの五感を刺激し、思考力や行動力、豊かな感性を育てることができる。

第二は、富山県の自然を繋ぐ場所としての機能。学校は、通常半径1～3kmの範囲ごとに設けられている。トンボやホタルの飛翔距離は1km程度という研究報告もあり、学校の敷地に、水辺、ヨシ原、雑木林等を復元すれば、現在、周辺にかろうじて生き残っている生物たちの生息場所として十分に機能すると考えられる。また、学校ならば、荒らされたり農薬を散布される等の人為的な被害も少ないだろう。

第三は、子どもたちと地域の人々とのコミュニケーションの場所としての機能。学校ビオトープづくりをきっかけに、子どもたちの父兄、先生、地域住民、地元の学識経験者、さらには行政や企業などの幅広い協力関係も生まれてくる。失われつつある地域コミュニティの復活も期待できる。みんなで話し合っって協力してつくった学校ビオトープは、まさに地域の財産となるだろう。

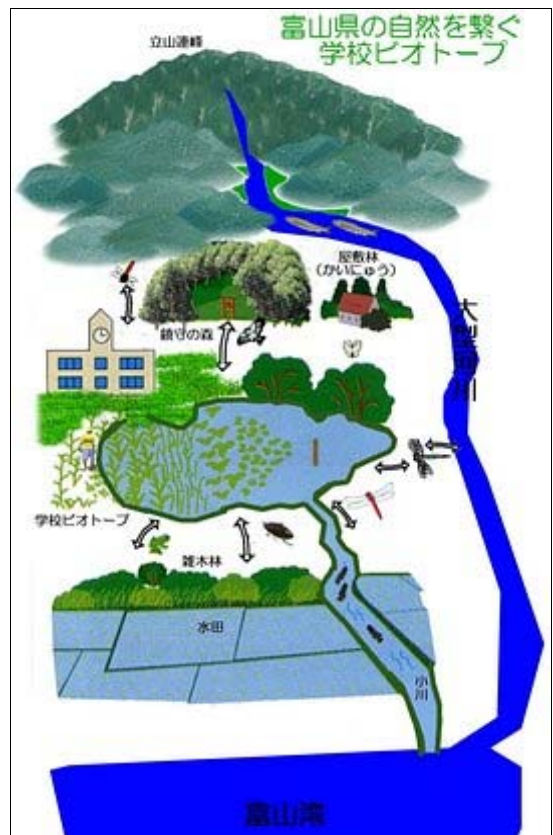
■学校ビオトープをつくる

学校ビオトープづくりで心掛けていることは、常に子どもたちが主役となって取り組むことである。

子どもたちにどんなビオトープにしたいかをイメージしてもらい、スケッチなどで具体的に描いて、簡単なコメントを書き込んでもらう。また、子どもたちが



身近な自然体験の場所



富山県の自然を繋ぐ場所



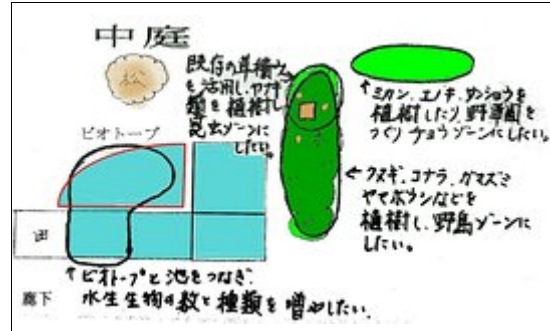
地域の人々とのコミュニケーションの場所

できる作業は、可能な限り子どもたちにしてもらおうことにしている。自分たちで描いたイメージを自分たちで形にできる喜びを感じ、ビオトープに対する愛着を深める大きな効果がある。

研究会としては、子どもたちができない部分を手伝いながら、専門家としてアドバイスし、指導していくというスタンスで取り組んでいる。



スコップで掘削（月岡小学校）



ビオトープのイメージスケッチ



バケツリレーによる土運び（月岡小学校）



ビオトープ完成（月岡小学校）

■学校ビオトープを維持する

学校ビオトープは、つくるだけでなく適切に維持管理していくことが大切である。

研究会では、復元した小川、ため池、ヨシ原に沿って風の通り道を確保するために、草を刈ったり、池の底にたまったヘドロをすくったり、繁茂し過ぎた水草を間引くなどの作業を子どもたちや先生に教えている。



ビオトープの草刈り指導

生き物たちが暮らしやすく、見た目にも美しい状態を保つことが管理の基本であり、昔の人々は、日常生活でそうした管理を行っていた。現在、無理なく日常管理を行うことができる場所として、学校は最適といえる。

しかし、学校の先生や生徒たちの顔ぶれは毎年のように変わる。熱心な先生が抜けたことでビオトープが放置され、荒れ果ててしまうことも考えられる。

研究会では、こうした事態を防ぐために、毎年学校を訪れて、ビオトープの意味やその管理方法などについて講義を行っている。

学校ビオトープの維持に対する子どもたちや先生方の不安や負担を軽減し、意識を高めるために、丁寧なアフターケアが非常に重要となってくる。

■学校ビオトープを観察する

学校ビオトープの醍醐味は、やはり生き物たちを観察することである。様々な工夫を凝らしてつくったステージに毎年、四季折々の生き物たちがやってくる。メダカ、ギンブナ、トノサマガエル、コクワガタなどをはじめ、今では希少種となったミヤマアカネなど、小さなビオトープでも、50種類以上の動植物を観察できるようになった。



水路への川石補充作業



ビオトープでの自然観察



メダカの群れ



希少種となったミヤマアカネ

富山県ビオトープ研究会第一部会は、富山県の豊かな自然を護ることは富山県民の責務であると考えており、そのための環境保全活動として「学校ビオトープ」づくりは最前線に位置するものと自負している。そして、この取組みを毎年積み重ねていくことで、将来的には全ての学校ビオトープが繋がって、富山県全体の豊かな自然を支えていくことを願っている。

3. 2 協会・支部等の活動事例

各地の建設業協会や支部・部会は、自然災害の復旧や防災支援を始め、河川・道路清掃や植樹などの環境美化・保全、各種催し等による住民とのふれあい、地域の防犯活動など、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

平成 23 年度に顕彰した協会・支部等のこうした活動事例の中から、ここでは次の 18 事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A1-01	岩手県	(社)岩手県建設業協会 盛岡支部	豪雪災害の応急復旧活動
A1-02	長野県	(社)長野県建設業協会 飯山支部	長野県北部地震の応急復旧活動
A2-01	栃木県	(社)栃木県建設業協会 芳賀支部	災害情報システムの構築
A2-02	群馬県	(社)群馬県建設業協会	GPS 携帯による災害情報共有システムの構築
A2-03	滋賀県	(社)滋賀県建設業協会	琵琶湖西岸断層帯地震を想定した図上演習
A3-01	栃木県	(社)栃木県建設業協会 足利支部	「愛りバーとちぎ」による河川美化活動
A3-02	石川県	(社)白山・石川建設業協会	「標高差 2702m のクリーン大作戦」
A3-03	山口県	(社)山口県建設業協会 山口支部	公共施設のクリーンアップ作戦
A4-01	秋田県	(社)平鹿建設業協会建 青会	「ほたるのタペ」鑑賞会の開催支援
A5-01	茨城県	(社)茨城県建設業協会	「建設フェスタ 2010」の開催
A5-02	新潟県	(社)新潟県建設業協会 長岡支部	「土木フェスティバル」の運営
A5-03	石川県	(社)加賀建設業協会土 木委員会	「はたらく機械、はたらく車とあそぼう」
A5-04	兵庫県	(社)兵庫県建設業協会 淡路支部青年部会	「夏休み子ども工作教室」の開催
A6-01	高知県	(社)高知県建設業協会 中村支部	防犯パトロールと交通安全指導
A6-02	佐賀県	(社)建設業協会佐賀	幼稚園・保育園の園庭芝生化活動
A7-01	三重県	(社)三重県建設業協会 伊勢支部	南伊勢町での鳥インフルエンザ防疫支援活動
A7-02	三重県	(社)三重県建設業協会 熊野支部	紀宝町での鳥インフルエンザ防疫支援活動
A7-03	奈良県	(社)奈良県建設業協会 五條支部	五條市での鳥インフルエンザ防疫支援活動

(1) 災害復旧支援活動

協会及び支部等の災害復旧支援活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A1-01	岩手県	(社)岩手県建設業協会 盛岡支部	豪雪災害の応急復旧活動
A1-02	長野県	(社)長野県建設業協会 飯山支部	長野県北部地震の応急復旧活動

事例 A1-01 : 岩手県

豪雪災害の応急復旧活動 ((社)岩手県建設業協会盛岡支部)

平成22年12月23日、前日からの大雪で、岩手県岩手町の山間部で道路への倒木が相次ぎ、大坊地区の国道281号線が10km以上にわたって通行不能となった。

翌24日朝、岩手県建設業協会盛岡支部は、岩手県と締結した「災害時における応急対策業務に関する協定」に基づく県からの支援要請を受けて、事前に準備していた地元の会員8社を推薦し、各社は直ちに復旧作業に取り掛かった。

現地では、道路脇の立木が倒木となって散乱していたが、各社が重機・作業員などを効果的に投入し、一丸となって復旧に努めた結果、当日の午後5時には通行止め区間の復旧作業が完了し、無事開通させることができた。



国道を覆う倒木



倒木の撤去作業



倒木の撤去作業



倒木撤去完了

長野県北部地震の応急復旧活動（(社)長野県建設業協会飯山支部）

平成 23 年 3 月 12 日早朝に発生した長野県北部地震は、最大震度 6 強を観測した本震（M6.7）とそれに続く 2 度の大きな余震により、下水内郡栄村を中心に甚大な被害をもたらした。この地震により、栄村では 600 棟を超える家屋が被害を受け、広範囲で断水し、秋山地区を除く全村に避難指示が出された。また、各地で道路の陥没や土砂崩れが発生して、交通網が遮断された。

長野県建設業協会飯山支部は、長野県飯山建設事務所の要請を受けて、栄村の幹線道路である国道 117 号線の交通を早期に回復すべく、直ちに安全対策を含めた応急復旧活動を開始した。

会員各社から延べ 60 人余を動員して復旧作業を進めた結果、3 月 24 日には、普通車両が通行可能となるまでに回復させることができた。同時に、栄村地区内の道路・水道の復旧にも取り組んだ。

同支部会員による献身的な復旧活動は、栄村村長をはじめ避難先の村民からも高く評価され、災害時における建設業の役割が改めて認識された。



長野県北部地震による家屋被害



国道 117 号線の陥没被害



陥没箇所の穴埋め



道路亀裂の修復



修復部の仕上げ

(2) 防災支援活動

協会及び支部の防災支援活動として、次の3事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A2-01	栃木県	(社)栃木県建設業協会 芳賀支部	災害情報システムの構築
A2-02	群馬県	(社)群馬県建設業協会	GPS携帯による災害情報共有システムの構築
A2-03	滋賀県	(社)滋賀県建設業協会	琵琶湖西岸断層帯地震を想定した図上演習

事例 A2-01：栃木県

災害情報システムの構築（(社)栃木県建設業協会芳賀支部）

栃木県建設業協会芳賀支部は、栃木県との防災協定に基づき、台風時等の待機、道路・河川等の点検パトロールを長年にわたって実施してきた。平成22年には、こうした活動の経験を活かして、支部管内の災害への早期対応を目的とした災害情報システムを構築し、その有効性を確認するための訓練を実施した。

この災害情報システムは、携帯電話とそのメール機能、カメラ機能を駆使して災害情報を即時に収集・管理することで、早期対応を図ることを基本としている。

各会員は、年度ごとに定めた緊急災害時連絡網に従ってパトロールを行い、対策本部に写真報告する。本部は報告内容を取りまとめて、真岡土木事務所に提出し、対策班を編成して待機させる。土木事務所からの対応要請があれば、直ちに対策班が出動して、応急対策にあたる。各会員の担当エリアは、概ね20分で到着できるように設定している。

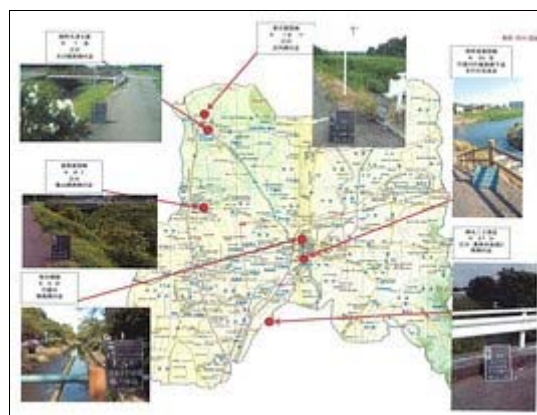
訓練では、対策班への連絡から状況報告まで、ほぼ目標通りの時間で実施可能であることを確認した。



河川緊急災害時連絡網



パトロール報告の受信



パトロール報告に基づく状況マップ

GPS 携帯による災害情報共有システムの構築 ((社) 群馬県建設業協会)

群馬県建設業協会は、群馬県をはじめ各自治体や国土交通省と「災害応急対策業務に関する協定」を締結しており、災害時または災害発生が予想される時には、パトロールや応急対策を行っている。しかし、近年多発している広範囲にわたる自然災害時には、情報が錯綜して、対応が混乱するケースも見られた。

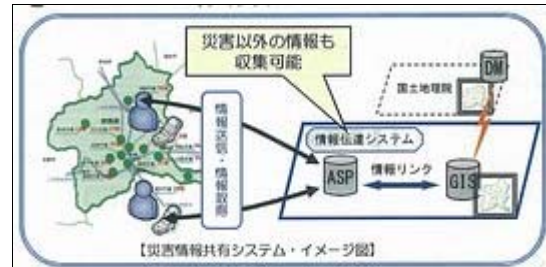
そこで同協会では、官民でのスムーズな情報共有化を図るため、平成 20 年、迅速かつ一元的に情報管理できる「GPS 携帯による災害情報共有システム」を構築した。

このシステムは、GPS 機能付き携帯電話で撮影した現地写真をサーバーにメール送信すると、地図上に位置プロットされて画像表示される仕組みで、支部や会員企業及び行政機関は、この蓄積情報に何時でもアクセスできるようになっている。

平成 20 年 6 月の実証実験を経て、同年 10 月から会員各社に GPS 携帯を配付して操作方法の講習を行い、本格的にシステムを導入した。平成 21 年度からは、毎年 5 月の道路クリーン作戦の際に、このシステムを使って状況報告する訓練を行っており、実際の台風や集中豪雨による災害時にも有効に機能した。

特に東日本大震災では、電話通信がほぼ不可能な状況の中で、このシステムは問題なく稼動し、群馬県庁が県内の被災状況を把握する上でも大いに役立った。

大震災以降、災害時の建設業の役割が見直されている中、同協会ではこのシステムの災害情報を一般公開できるようにステップアップした。業界と行政機関との情報共有ツールとしてだけでなく、建設業が地域の人々の暮らしを守る役割を果たしていることを広くアピールする手段として、このシステムを有効に活用していく考えである。



システムイメージ



パトロール報告受信画面



携帯電話による現場からの投稿写真



一般公開用位置プロット画面

琵琶湖西岸断層帯地震を想定した図上演習（社）滋賀県建設業協会

滋賀県建設業協会は、関係行政機関との防災協定に基づき、災害発生時に迅速に対応できるように、日頃から会員の保有資機材や稼働現場の把握等に努めている。また、定期的に防災訓練を実施して、対応方法の見直しを図っている。

平成23年1月26日には、こうした防災活動の一環として、滋賀県庁において、関係行政機関と合同で琵琶湖西岸断層帯地震を想定した図上演習を実施した。



図上演習会場

この演習では、滋賀県北部で M7.8 の地震が発生し、各地で道路が寸断されたとの想定で、対策本部の設置と被害状況の把握、行政機関から建設会社への出動要請、現地での応急復旧までの流れを机上で再現しながら、課題を抽出した。

参加機関は、近畿地方整備局、滋賀県、大津市、高島市、同協会及び日本土木工業協会であり、参加者は、会場外での対応を含めて約330名に上った。

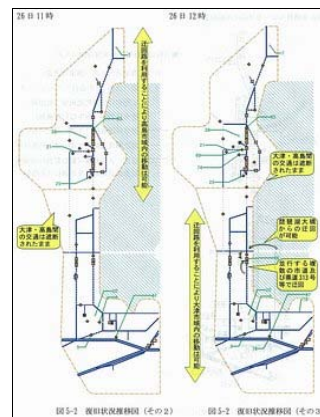
「国と県、建設団体が合同でこれほど大規模な図上訓練を行うのは全国でもはじめて」（近畿地方整備局）で、マスコミにも大きく取り上げられ注目を集めた。



各対策本部での情報収集



関係機関との協議



復旧状況推移図

(3) 環境美化活動

協会及び支部の環境美化活動として、次の3事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A3-01	栃木県	(社)栃木県建設業協会 足利支部	「愛リバーとちぎ」による河川美化活動
A3-02	石川県	(社)白山・石川建設業 協会	「標高差 2702mのクリーン大作戦」
A3-03	山口県	(社)山口県建設業協会 山口支部	公共施設のクリーンアップ作戦

事例 A3-01 : 栃木県

「愛リバーとちぎ」による河川美化活動 ((社)栃木県建設業協会足利支部)

栃木県建設業協会足利支部は、平成17年、足利土木事務所(現安足土木事務所)及び足利市と「愛リバーとちぎ」(河川版ボランティアサポートプログラム)の合意書を締結した。これは、足利市内の河川及び関連施設を定期的に清掃する奉仕活動で、同支部は河川公園や河川防災ステーションなど数カ所を担当している。

以来、毎年4回、会員会社から述べ200名ほどが参加して、各所の草刈りや清掃活動を行うことで、市民に憩いの場を提供し続けている。



蓮台寺川今福町河川公園の除草



袋川河畔の除草



姥川河畔の除草



姥川の清掃

「標高差 2702m のクリーン大作戦」((社) 白山・石川建設業協会)

白山・石川建設業協会の管内は、霊峰白山の山麓から、溪谷美を誇る手取川、白砂青松の日本海まで、山、川、海の豊かな自然に恵まれた地域である。同協会は、平成 17 年の発足以来、こうした地域の素晴らしい環境を守るため、道路清掃等のボランティア活動を精力的に実施してきた。

平成 20 年度からは、それまでの活動をさらに発展させ、「標高差 2702m のクリーン大作戦」として展開している。

これは、海岸部から白山頂上まで、標高差 2702m にわたる環境美化活動で、①松任海岸の清掃、②管内 15 路線 80km の道路清掃、③白山清掃登山及び外来植物除去作業の 3 つの活動の総称である。

平成 22 年度は、5 月 30 日の海岸清掃に 70 名、8 月 3 日の道路清掃に 340 名、8 月 9～10 日の白山清掃登山及び外来植物除去作業に 33 名が参加した。

この活動は現在、国土交通省、石川県、白山市、白山自然保護センター、環白山保護利用協会、白山観光協会等と連携した活動となって、地域に定着している。

特に白山では、近年、増加する登山客とともに外来植物の種子を持ち込まれ、クロユリ、ハクサンコザクラ等貴重な高山植物の植生を脅かしており、問題となっている。

白山の美しい自然環境と生態系を後世に残すために、同協会は、今後さらに白山清掃登山及び外来植物除去作業の拡充を図っていく考えである。



松任海岸の清掃



管内道路脇の草刈り



白山清掃登山及び外来植物除去作業

公共施設のクリーンアップ作戦（(社)山口県建設業協会山口支部）

山口県建設業協会山口支部では、平成 11 年より、毎年 7 月下旬に開催される山口市の伝統行事「ふしの夏祭り」の直前に、会場を含めた市内各所で「公共施設クリーンアップ作戦」を実施している。

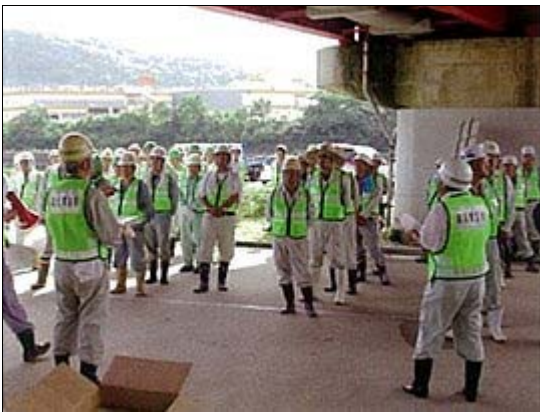
平成 22 年は、梅雨明けの 7 月 22 日、94 社から総勢約 300 名が参加して、山口市内 6 箇所の公共施設に分かれて、クリーンアップ作戦を展開した。

このうち、夏祭りの会場となる小郡地区の榎野（ふしの）川東津河川緑地公園では、朝 9 時に集合した約 80 名の参加者が、揃いのネーム入りベストを着用し、4 班に分かれて草刈りやゴミ拾いに汗を流した。

草刈り班が刈った草は、公園内の道路脇に積み上げられ、会員所有の収集車が順次回収していった。一方、ゴミ拾い班は、草むらに捨てられた空き缶や弁当くず、ビニール袋などを拾い集めた。

市の中央部を貫いて周坊灘に注ぐ榎野川は、山口市の豊かな自然環境の象徴であり、河川敷には多くの公園やイベント広場などが整備され、市民に親しまれている。同支部の継続的な清掃活動は、市民の啓蒙にも役立っており、公園に捨てられるゴミは年々少なくなり、利用者のマナーも良くなってきた。

同支部は、「公共施設クリーンアップ作戦」を地域貢献の中心と位置付けており、今後も対象施設を拡大していく方針である。



清掃作業前ミーティング



河川緑地公園の草刈り



会員所有の収集車による刈り取った草の回収



(4) 環境保全活動

協会及び支部の環境保全活動として、次の事例を紹介いたします。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A4-01	秋田県	(社)平鹿建設業協会建青会	「ほたるの夕べ」鑑賞会の開催支援

事例 A4-01 : 秋田県

「ほたるの夕べ」鑑賞会の開催支援 ((社)平鹿建設業協会建青会)

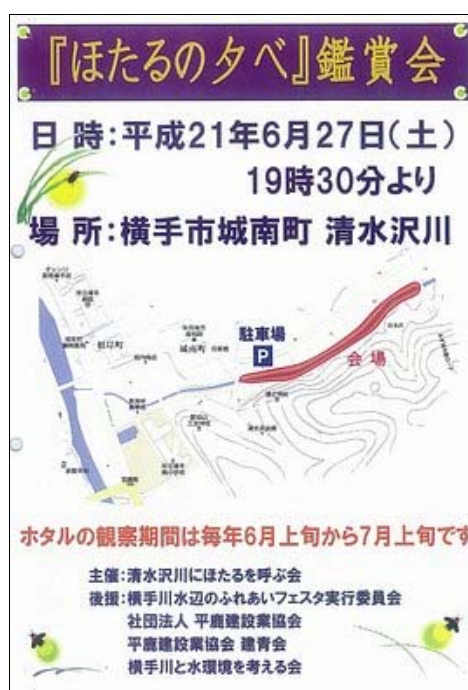
平鹿建設業協会建青会は、平成 17 年度より、地元横手市清水沢川の初夏の風物詩「ほたるの夕べ」鑑賞会の開催を全面支援している。

この鑑賞会は、地元の有志が結成した「清水沢川にほたるを呼ぶ会」が主催し、平鹿建設業協会などが後援するイベントで、横手川水系の恵まれた自然環境の保全を通じて、地域住民や子供たちとの交流を図る「横手川水辺のふれあいフェスタ」の主要事業となっている。

同協会建青会は、まず、ほたるの生息できる河川環境の復元に取り掛かった。雑草で覆われ、泥が溜まっていた清水沢川の岸边や川底を整備し、ほたるの餌となるカワニナの生息環境を整えた。またこの環境を維持・保全していくために、毎年継続して草刈りや清掃活動を実施している。



清水沢川の整備作業



「ホタルの夕べ」案内

こうして、毎年 6 月中旬～7 月上旬になるとほたるの飛び交う姿が見られるようになり、「ほたるの夕べ」鑑賞会が開催できるようになった。

建青会は、この鑑賞会の運営にも主体的に関わっており、参加者の募集から、会場の設営・撤収、交通整理まで担当している。

「ほたるの夕べ」鑑賞会には、毎年約 400 人の市民が訪れて、淡く光るホタルの飛翔を楽しみ、癒しのひと時を過ごしている。

(5) 建設業ふれあい活動

協会及び支部の建設業ふれあい活動として、次の4事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A5-01	茨城県	(社)茨城県建設業協会	「建設フェスタ 2010」の開催
A5-02	新潟県	(社)新潟県建設業協会 長岡支部	「土木フェスティバル」の運営
A5-03	石川県	(社)加賀建設業協会土 木委員会	「はたらく機械、はたらく車とあそぼう」
A5-04	兵庫県	(社)兵庫県建設業協会 淡路支部青年部会	「夏休み子ども工作教室」の開催

「建設フェスタ 2010」の開催（社）茨城県建設業協会

茨城県建設業協会は、平成6年度より、国や県、建設関連団体と合同で「建設フェスタ」を開催している。これは、茨城県民（特に小学生以下の子どもとその父兄）に建設産業の魅力や公共事業の重要性を理解してもらうための体験型イベントで、毎年多くの来場者を集める秋の恒例行事となっている。

平成22年度の「建設フェスタ 2010」は、10月24日、国営ひたち海浜公園西ロケット前特設会場において、約12,000人の来場者を集めて開催された。

朝9時の開会式に続いて、親子競演丸太切り、建設作業体験リレー、建設機械の操作体験、クイズラリー、ミニ上棟式など、参加51団体のスタッフによる多彩なプログラムが繰り広げられた。各団体からの提供商品によるチャリティーオークションの収益金は、骨髄バンクを支援する「いばらきの会」及び茨城新聞社文化福祉事業団に寄付された。

「建設フェスタ」を毎回楽しみにしているリピーターも多く、同協会では、今後も楽しんでもらえるプログラムを拡充していきたいと考えている。



「建設フェスタ 2010」案内



建設作業体験リレー



建設機械の操作体験



ミニ上棟式



「土木フェスティバル」の運営（(社)新潟県建設業協会長岡支部）

新潟県建設業協会長岡支部は、平成2年より毎年開催される「土木フェスティバル in NAGAOKA」の実行委員として、その企画・運営に携わっている。

「土木フェスティバル」は、地域の人々に優れた土木技術を紹介し、触れ、親んでもらうとともに、社会資本整備の意義や重要性を理解してもらうことを目的としたイベントである。

平成22年度（第21回）は、10月3日、国営越後丘陵公園と市内3カ所の現場で開催された。

メイン会場である国営越後丘陵公園では、土木事業や技術に関する写真・パネル・模型の展示に加え、ロータリー除雪車、リフト車、降雨体験車、土砂災害体験装置などの実演、体験を行った。

現場見学会は、刈谷田川ダム～刈谷田川災害復旧現場コースなど、3つのコースで実施し、参加者は、普段入ることのできない施設や工事現場に興味深々の様子であった。

同協会は、「土木フェスティバル」を毎年継続して開催することで、地域の人々の土木事業への理解が一層深まることを期待している。



チラシ



土木技術に関する屋内展示



ロータリー除雪車の試乗



リフト車の試乗体験



刈谷田川ダム内部の見学

「はたらく機械、はたらく車とあそぼう」(社)加賀建設業協会土木委員会

加賀建設業協会土木委員会は、平成 20 年度より、加賀市内の保育園児たちとのふれあいイベント「はたらく機械、はたらく車とあそぼう」を開催している。

これは、保育園に建設機械を持ち込んで、園児たちに見て、触れて、乗ってもらいイベントで、子どもたちに建設の仕事を知ってもらい、建設業の役割と大切さを理解してもらうことを目的としている。

平成 22 年度は、5 月 28 日、加賀市河南町の新生保育園で開催した。当日は、ショベルカーやバックホウ、ミキサー車、ダンプトラックなど建設機械 5 台を運動場に展示して試乗体験などを行うとともに、工事の写真展示や、測量器による視準体験も行われた。

約 100 人の園児たちは、普段は遠く見ているだけの建設機械を間近で見ると歓声を上げながら、興味深そうに触れたり、操縦席に座ったりして楽しんだ。また、子どもたちの好きな着ぐるみキャラクターも登場して、一緒に記念撮影するなど人気を集めた。

同会では、建設業が地域社会に密着した存在であり続けるためには、まず地域の子どもたちに関心を持ってもらうことが大切であると考えており、これからもこのふれあい活動を継続していきたいとしている。



ショベルカーとのふれあい



測量器による視準体験



着ぐるみキャラクターの登場

「夏休み子ども工作教室」の開催（(社)兵庫県建設業協会淡路支部青年部会）

兵庫県建設業協会淡路支部青年部会は、毎年8月に、地域の小学生を対象とした「夏休み子ども工作教室」を開催している。これは、全国建設青年の日（7月28日）事業の一環として取り組んでいるもので、専門家の指導による工作体験を通じて、子どもたちに“ものづくり”への興味を持ってもらうとともに、父兄たちにも建設業を身近に感じてもらうことを目的としている。

平成22年度は、8月7日、淡路商工会館にて、淡路市内の小学校高学年の児童20名とその父兄が参加して、午前と午後の2回に分かれてマガジンラック作りを体験した。

講師が工作手順や注意事項などをひと通り説明したあと、児童一人につき一作品を時間内で完成させるため、青年部会会員13名が先生となって、のこぎり、かなづちの使い方から、寸法の合わせ方、組み立て方まで、ほぼマンツーマンで指導した。

のこぎりを使うのが初めてという子どもも多く、苦勞している様子であったが、釘を打ったり、ボンドで接着することで、白木の板がだんだんマガジンラックの形に近づいていくと、親子で満足げな笑顔を浮かべていた。

同青年部会は、こうした活動を通じて、地域とのつながりを一層深めていきたいと考えている。



夏休み子ども工作教室



青年部会の講師による指導



マガジンラックの製作

(6) 社会福祉活動

協会及び支部の社会福祉活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A6-01	高知県	(社)高知県建設業協会 中村支部	防犯パトロールと交通安全指導
A6-02	佐賀県	(社)建設業協会佐賀	幼稚園・保育園の園庭芝生化活動

事例 A6-01：高知県

防犯パトロールと交通安全指導（(社)高知県建設業協会中村支部）

高知県建設業協会中村支部では、地域犯罪の抑止と通学時の事故防止を目的に、平成21年度より、夜間の防犯パトロールと通学時の交通安全指導を実施している。

近年、全国的に犯罪の悪質化、低年齢化が進んでおり、子どもを狙った犯罪も増加している。高知県においても同様であり、こうした傾向を憂慮した同支部は、平成21年10月、中村地区地域安全協会による「幡多こども見守り隊」に参加して、子どもたちを犯罪や事故から守るための活動を開始した。



こども見守り隊発足式

平成22年度は、7月31日の「しまんと市民祭」、11月22日の「一條大祭」に合わせた夜間パトロール（参加28名、18名）を実施した。また、9月の交通安全運動期間中には、全会員が最寄の交差点で、交通安全の街頭指導を行った。

各班が着用している揃いの蛍光ベストは、夜間でも良く目立ち、通りがかりの人から「御苦労さま」と声を掛けられることも多くなった。

同支部では、より安全で安心できる地域社会づくりに貢献するために、協会本部と連携して、地域防犯活動の輪をさらに広げていきたいとしている。



中村支部管内の夜間防犯パトロール

幼稚園・保育園の園庭芝生化活動（社）建設業協会佐賀

建設業協会佐賀は、子どもたちに“裸足で遊べる環境”を提供するため、平成 17 年より、幼稚園・保育園の園庭芝生化活動を実施している。これは、佐賀市内の幼稚園・保育園から毎年 1 カ所を選定し、園児や父兄らとともに園庭に芝生を張る活動で、その 2 ヶ月前には、現地測量・地盤整備を行ない、必要があれば地盤改良等も行っている。

平成 22 年度は、6 月 5 日、市内の日新保育園の園庭で、協会員 55 名と園児や父兄ら総勢約 100 名が参加して、約 360 m²の園庭に芝生を張った。

園児らは、協会員の指導で、芝生のパネルを丁寧に敷き詰めたあと、小さな一輪車やバケツを使って楽しそうに砂を運んで、隙間に埋めていった。

近年、子どもたちが安全に遊べる場所が少なくなっている中で、芝生の園庭はケガの心配もなく、安心して裸足で遊ぶことができる。また、地球温暖化防止にもつながるため、園の関係者だけでなく地域住民からも喜ばれている。



園児・父兄らとの芝生張り



芝生化された日新保育園の園庭



保育園からの感謝状

(7) 防疫活動

協会及び支部の防疫活動として、次の3事例を紹介します。

事例No.	都道府県	協会・支部等	活動内容
A7-01	三重県	(社)三重県建設業協会 伊勢支部	南伊勢町での鳥インフルエンザ防疫支援活動
A7-02	三重県	(社)三重県建設業協会 熊野支部	紀宝町での鳥インフルエンザ防疫支援活動
A7-03	奈良県	(社)奈良県建設業協会 五條支部	五條市での鳥インフルエンザ防疫支援活動

事例 A7-01 : 三重県

南伊勢町での鳥インフルエンザ防疫支援活動（(社)三重県建設業協会伊勢支部）

平成23年2月26日、三重県南伊勢町の養鶏農場において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された。三重県は、飼養鶏の殺処分や移動制限等の防疫措置を決定し、自衛隊をはじめとする関係機関に防疫処分に係る作業要請を行った。

三重県建設業協会伊勢支部は、協会と三重県との「家畜伝染病等の緊急時における基本協定」に基づき、直ちに殺処分鶏の埋却処理業務の態勢を整えた。

翌27日早朝、南伊勢町を担当する会員7社が協力して、重機5台と投光機等を用意し、埋却予定地に出動した。処分鶏は約24万羽と見込まれ、これに対応するため、長さ25m、深さ4mの埋却溝3カ所の掘削に着手した。各社は、次々と運ばれてくる処分鶏の埋却と掘削との並行作業に、昼夜分かたず専念した。

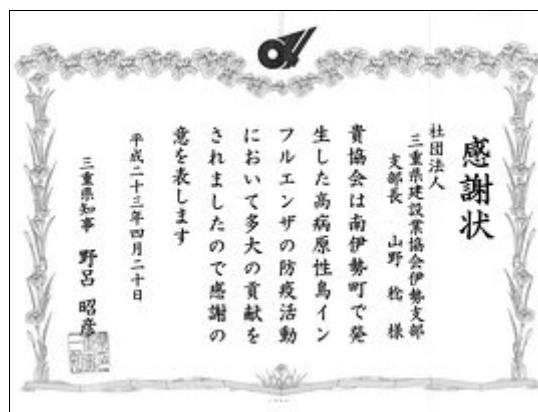
年度末で多忙な時期であったが、最優先で埋却処分に努めた結果、3月3日には埋却が完了し、消毒作業を経て、28日の鳥インフルエンザ終息宣言を迎えた。



処分鶏の埋却



埋戻し作業



三重県知事からの感謝状

紀宝町での鳥インフルエンザ防疫支援活動（社）三重県建設業協会熊野支部

平成 23 年 2 月 16 日、三重県紀宝町の養鶏農場において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された。三重県では、直ちに高病原性鳥インフルエンザ対策本部を設置して、飼養鶏の殺処分、農場周辺の移動制限等の防疫措置を実施した。

三重県建設業協会熊野支部は、協会と三重県とが前年 7 月に締結した「家畜伝染病等の緊急時における基本協定」に基づく支援要請を受け、直ちに会員会社から従業員 12 名と重機 2 台を手配して、農場の敷地内に設けられた埋却予定地に出動させ、殺処分鶏の埋却処理の準備を始めた。

現地では、試掘により土壌に問題がないことを確認した後、処分鶏約 6 万 7 千羽分の埋却溝 2 カ所の本掘削を開始した。

2 日後の 18 日 7 時、埋却溝の掘削が完了し、引き続き、溝内の整地、消石灰による消毒（複数回）、ブルーシートの敷設、クレーンによる処分鶏や鶏糞、残存飼料等の投入に取り掛かった。年度末で多忙な時期であったが、24 時間体制で埋却作業に努めた結果、20 日には全埋却物の投入及び埋戻しが完了した。

こうした突発的な事態が発生した場合に、建設業が果たすべき役割は大きく、同支部は、今後も迅速な対応ができる体制を維持していく考えである。

なお、同年 4 月には、今回の防疫活動への貢献に対して三重県知事より感謝状が贈られている。



処分鶏の埋却



処分鶏の埋却



三重県知事からの感謝状

五條市での鳥インフルエンザ防疫支援活動（社）奈良県建設業協会五條支部

平成 23 年 2 月 28 日、奈良県五條市の養鶏農場において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された。奈良県では、直ちに高病原性鳥インフルエンザ防疫対策本部を設置し、約 10 万羽の殺処分及び埋却等の防疫措置を決定した。

鶏の殺処分は、県や市の職員など 150 名により同日夜から始まった。一方、埋却処分地の選定は、近隣の同意が得られず難航し、3 月 2 日にようやく確定した。

奈良県建設業協会五條支部は、協会と奈良県とが同年 1 月に締結した「家畜伝染病発生時における支援活動業務協定」に基づく要請を受け、早速、殺処分鶏の運搬・埋却作業に取り掛かった。

作業には会員会社から 12 名が参加し、大型パワーショベルなど重機 5 台、ダンプ 6 台を投入して、幅 20m、深さ 5m、長さ 140m の埋却溝の掘削を 24 時間体制で進めた。

悪天候と異臭が漂う中、防護服を着用しての掘削作業は困難を極めたが、オペレーターをはじめ作業員は、心身ともに疲労の限界まで粘り強く作業を続けた。

3 月 5 日午前 3 時、10 万羽の埋却処分が終了し、引き続き、飼料・鶏卵・鶏糞を埋却して、翌 6 日午後 4 時過ぎに全ての作業が完了した。

同支部は、今後も起こりうるこうした事態に備えて、埋却地の確保や指揮命令系統の一本化などの課題を、行政機関とともに解決していきたいとしている。



埋却溝の掘削



処分鶏の埋却



処分鶏の埋却、消毒

3. 3 会員企業の活動事例

各地の建設業協会の会員企業は、地域の安全・安心確保を最優先に考えて、災害時には先頭に立って復旧活動に従事するとともに、日頃から地域の環境美化・保全活動や、建設業ふれあい活動、社会福祉活動などにも積極的に取り組んでいます。これらの活動は、地元企業ならではの工夫により、住民にもたいへん喜ばれ、建設業のイメージアップにつながっています。

平成 23 年度に顕彰した会員企業のこうした活動事例の中から、3. 1 で紹介した代表事例のほか、ここでは次の 17 事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B1-01	北海道	茅沼建設工業(株)	豪雨災害の応急復旧活動
B1-02	鹿児島県	(株)新町組	豪雨による道路崩壊からの人命救助支援
B2-02	青森県	田中建設(株)	消防団への参画による地域消防活動の支援
B3-01	青森県	(株)南建設	「アップルマラソン」コースの清掃奉仕活動
B3-02	秋田県	(株)大沼組	道路・法面のクリーンアップ活動
B3-03	京都府	玉井建設(株)	宇治橋周辺の清掃活動
B3-04	兵庫県	(株)川嶋建設	コウノトリ生息地の環境美化活動
B3-05	和歌山県	(株)東組	小学校通学路の清掃活動
B3-06	島根県	(株)佐藤工務所	全従業員による毎月1回の道路清掃活動
B3-07	広島県	大之木建設(株)	観光地周辺道路の清掃・美化活動
B4-02	滋賀県	(株)桑原組	砂防工事現場での里山探検と記念植樹
B5-01	北海道	草野作工(株)	「こいのぼりフェスティバル」の支援
B5-02	福島県	菅野建設工業(株)	現場見学会「こはたやまがっこう」の開催
B5-03	富山県	此川建設(株)	ニジマス・岩魚つかみ大会の会場設営
B5-04	福井県	坂川建設(株)	まちづくりイベントへの運営協力
B6-01	北海道	萩原建設工業(株)	謝恩クラシックコンサートの開催
B6-02	北海道	開発工建(株)	独居高齢者宅の除雪奉仕活動

(1) 災害復旧支援活動

会員企業の災害復旧支援活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B1-01	北海道	茅沼建設工業(株)	豪雨災害の応急復旧活動
B1-02	鹿児島県	(株)新町組	豪雨による道路崩壊からの人命救助支援

事例 B1-01：北海道

豪雨災害の応急復旧活動（茅沼建設工業(株)）

平成22年7月29日、北海道南西部を襲った豪雨では、各地で24時間降水量が観測史上最多を記録し、土砂崩れや冠水によって国道229号線など幹線道路の寸断が相次いだ。また、河川の氾濫や橋の損壊などの被害も発生した。

茅沼建設工業(株)は、地元の泊村や神恵内村の被災現場にいち早く駆けつけ、小樽建設協会の会員各社と連携して復旧活動に当たった。冠水した道路での土のう積みや土砂の撤去、河岸の決壊箇所での大型土のう設置や流木の除去作業など、24時間体制で取り組んで、早期の機能回復に大きく貢献した。

同社をはじめとする地元建設業者の迅速な出動と献身的な復旧活動に対しては、神恵内村、泊村、北海道開発局より感謝状が贈られた。



国道229号線の崩落土砂の撤去・搬出



泊村の土砂崩壊面のシート養生



神恵内村長からの感謝状

豪雨による道路崩壊からの人命救助支援 (株)新町組

平成 22 年 7 月 3 日、鹿児島県霧島地区で、未明に降った時間雨量 120 mm の集中豪雨で手籠川が氾濫し、県道国分霧島線に濁流が溢れ出して、通行中の乗用車 7 台が坂道の途中で立ち往生する事態が発生した。霧島市消防局のレスキュー隊が現場に駆けつけたが、濁流の勢いは止まらず、しばらく手が出せない状態が続いた。

この日、付近の土砂崩壊現場での復旧作業を終えた(株)新町組の社員 2 名は、手籠川の状態を確認するため、ユニック車で現地に向かう途中、このレスキュー現場に遭遇することになった。

その時、レスキュー隊長のもとに、下流にいた霧島市消防局長から、「道路が濁流によって崩壊し始めている。」との連絡が入った。一刻を争う状況となり、隊長は、居合わせた同社の社員に、ユニック車を使った救助協力を要請した。2 人はユニック車に乗り込み、レスキュー隊員 6 名が荷台に乗ってロープで体を固定して救出の機会をうかがった。



濁流により立ち往生する乗用車

濁流の勢いが少し弱くなった瞬間、レスキュー隊の指示のもと、ユニック車は濁流の中をバックで慎重に乗用車に近づき、レスキュー隊員が車の中にいた 6 名を一人ずつ荷台に引き上げて救出した。

その 30 分後、立ち往生していた車のうち 4 台は、崩壊した道路とともに 30m 下に転落した。

7 月 16 日、霧島市消防局は、同社社員の人命救助への貢献に対して、局長表彰を行って感謝の意を表した。



救出後崩壊した道路



霧島市消防局による局長表彰



(2) 防災支援活動

会員企業の防災支援活動として、次の事例を紹介いたします。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B2-02	青森県	田中建設(株)	消防団への参画による地域消防活動の支援

事例 B2-02 : 青森県

消防団への参画による地域消防活動の支援 (田中建設(株))

田中建設(株)は、平成 19 年より、十和田消防署と合同で定期的に消防訓練を実施しており、また、社内に在籍する消防団員の活動を組織的にサポートするなど、地域の消防活動を積極的に支援している。

少子高齢化に伴って、全国的に消防団員の数が減少するとともに、その職業も変化している。十和田市においても団員の 8 割が会社勤務となっており、地域における消防力の低下が危惧されている。

同社は、社員の消防団への参加を奨励しており、勤務時間中に消防団活動に出動する場合は、必要時間又は必要日数の特別休暇を与えている。また、人事考課でも不利に扱わないよう規定するなど、社員が安心して消防団活動に従事できる体制を整えている。

また、在籍している 2 名の女性消防団員は、市内の一人暮らし高齢者宅を訪問して、会話を交わしながら火災予防を呼びかけ、防火診断や火災報知機の点検方法の説明を行うなど、消防団の広告塔として地域に親しまれている。

同社は、こうした活動を積み重ねたことで、平成 22 年には、十和田市から消防団協力事業所の認定を受けた。



十和田消防署との合同消防訓練



消防団協力事業所表示証の授与



女性消防団員の活動を紹介した新聞記事

(3) 環境美化活動

会員企業の環境美化活動として、次の7事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B3-01	青森県	(株)南建設	「アップルマラソン」コースの清掃奉仕活動
B3-02	秋田県	(株)大沼組	道路・法面のクリーンアップ活動
B3-03	京都府	玉井建設(株)	宇治橋周辺の清掃活動
B3-04	兵庫県	(株)川嶋建設	コウノトリ生息地の環境美化活動
B3-05	和歌山県	(株)東組	小学校通学路の清掃活動
B3-06	島根県	(株)佐藤工務所	全従業員による毎月1回の道路清掃活動
B3-07	広島県	大之木建設(株)	観光地周辺道路の清掃・美化活動

「アップルマラソン」コースの清掃奉仕活動（株）南建設

（株）南建設は、地元の弘前市で毎年秋に開催される「弘前・白神アップルマラソン」のコース全区間にわたる清掃奉仕活動を実施している。

「弘前・白神アップルマラソン」（主催：弘前市、弘前市教育委員会、他）は、弘前市内から白神山地の麓の西目屋村までの区間で行われる市民マラソンで、平成 22 年の第 8 回大会には、全国から 4,600 人のランナーが参加するなど、地域の一大イベントとして定着している。

同社は、平成 15 年の第 1 回大会から、開催日の 1 週間前に、協力会社を含む約 100 名の社員を動員して、コースの全区間（約 21km）で道路清掃を行っており、大会の安全とイメージアップに貢献している。

その他にも、地域や現場周辺の道路や河川の清掃活動を 10 年以上にわたって継続しており、平成 22 年 2 月には、青森県知事より「環境活動パートナーシップ表彰奨励賞」を受賞した。



「アップルマラソン」の案内



「アップルマラソン」コースの清掃



土淵川の清掃



青森県知事からの表彰状

道路・法面のクリーンアップ活動（(株)大沼組）

(株)大沼組は、平成 18 年より、由利本荘市内の幹線道路や法面のクリーンアップ活動と、近隣の小学校通学路の除草作業などを行っている。

これは、毎年 6 月に開催する同社の社内安全大会に合わせて実施している恒例行事で、協力会社の従業員も加わって、総勢 40～50 名による活動となっている。

平成 22 年度は、6 月 12 日、52 人が参加して、朝 8 時の朝礼の後 8 班に分かれ、国道 107 号線・国道 398 号線などで道路や法面のゴミを拾い集めた。

その後、高瀬小学校の通学路での路肩や法面の草刈り、道の駅東由利でのインターロッキングブロックの目地補修など各地で奉仕作業を展開した。

また、当日は、本社前に採血車を配置して、有志による献血活動も行った。

同社は、これからもさまざまな奉仕活動を通じて地域に貢献していきたいと考えている。



クリーンアップ開始前の朝礼



小学校通学路の草刈り



拾い集めたごみの回収



採血車での献血

宇治橋周辺の清掃活動（玉井建設(株)）

玉井建設(株)は、平成2年に施工した「平成宇治橋架け替え工事」をきっかけに、翌3年より、毎年8月4日の「橋の日」に、宇治橋周辺の清掃活動を行っている。また、平成11年からは、地元中宇治地区の2大イベントである「県祭り」(6月)と「宇治川花火大会」(8月)の翌朝にも清掃活動の場を広げている。

20回目となった平成22年の「橋の日」清掃活動は、グループ会社や安全衛生協力会の会員会社(80社)の社員も加わって、総勢80名を超える規模となった。参加者は、揃いの蛍光ベストを着用し、3班に分かれて宇治橋周辺の道路や河川敷のゴミを回収した。

同社の「橋の日」清掃活動は、今では宇治橋周辺の夏の恒例イベントとして地域に定着している。また、行政からも高く評価されており、平成23年3月の「宇治市制施行60周年記念式典」では、生活環境の向上と地域社会づくりへの永年にわたる貢献に対して宇治市長より表彰状が贈られた。



宇治橋周辺清掃活動前の朝礼



宇治橋周辺の歩道清掃



宇治橋通りの清掃



宇治川花火大会翌朝のバス停清掃



宇治市長からの表彰状

コウノトリ生息地の環境美化活動（株）川嶋建設

（株）川嶋建設は、コウノトリの街として有名な地元豊岡市で、その生息地である「コウノトリの郷公園」の草刈り作業や「ハチゴロウの戸島湿地」の整備作業など、環境美化の奉仕活動を継続的に実施している。

豊岡市は、コウノトリが住む環境先進都市を宣言しており、そのリーディングプロジェクトとして「コウノトリ野生復帰事業」を推進している。同社はこの趣旨に賛同して、平成 17 年に野生復帰の舞台となる「コウノトリの郷公園」の草刈り活動を、21 年には餌場である「ハチゴロウの戸島湿地」の整備活動を開始した。

同社では、コウノトリ放鳥前の平成 13 年から、11 月 1 日の創立記念日にちなんで毎年 11 月をボランティア月間と定め、全従業員が参加して現場周辺のゴミ拾いや不法投棄物の撤去などの美化活動を展開しており、コウノトリ生息地の整備もこの活動の一環として位置付けている。

平成 23 年 3 月には、「コウノトリ野生復帰事業」への同社の貢献に対して豊岡市長より感謝状が贈られた。



「コウノトリの郷公園」の草刈り



「ハチゴロウの戸島湿地」の整備



但馬空港周辺の不法投棄物の撤去



豊岡市長からの感謝状

小学校通学路の清掃活動（(株)東組）

(株)東組は、地域の安全・安心を確保するため、平成18年より、地元の雑賀崎・田野地区の道路沿いや小学校の通学路で、草刈り・清掃活動を行っている。

通学路の草刈りは、以前から雑賀崎小学校のPTA活動として、年2回行われていたが、夏場は雑草が広範囲に生い茂るため、PTAだけで全て処理することは困難な状況であった。それを知った同社は、こうした活動を支援することが地元企業の使命であると考え、以来、毎年約20名の社員を動員して、PTAらとともに雑木伐採や除草作業に取り組んでいる。

同社の奉仕活動は、この他にも、住民の生活道路の凍結防止対策、漁港内の清掃と注意喚起看板の設置、県立高校のグラウンド整備、廃校跡地の整地などさまざまな分野に及んでいる。

同社のこうした活動に対して、和歌山市をはじめ、雑賀崎小学校、県立和歌山工業高校などから毎年のように感謝状が贈られている。



小学校通学路の清掃



小学校通学路の雑木伐採処理



和歌山市長からの感謝状



雑賀崎小学校からの感謝状

全従業員による毎月 1 回の道路清掃活動（株）佐藤工務所

（株）佐藤工務所は、環境美化活動に力を入れており、特に道路の清掃活動については、平成 8 年より毎月 1 回、社長以下全従業員で国道 432 号線奥出雲大橋周辺の清掃活動を継続している。

また夏場には、河川敷に生い茂った雑草の除去作業を行い、冬期の降雪時には、早朝より出勤して道路や歩道の除雪作業を行うなど、地域住民の安全・安心の確保に努めている。

同社は、平成 13 年 3 月、これらの清掃奉仕活動の実績が認められて、島根県より「道路愛護ボランティア実施団体」の認定を受けた。また、平成 16 年には島根県から「みんなでそだてるしまねの道づくり表彰」を受賞した。さらに、平成 20 年の「2008 道路ふれあい月間」では、国土交通大臣から感謝状が贈られるなど、同社の道路清掃活動は、地域住民をはじめ行政からも高く評価されている。



奥出雲大橋の歩道清掃



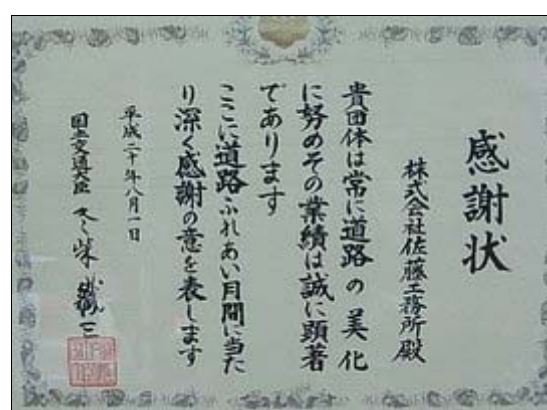
交差点付近の道路清掃



河川の除草作業



奥出雲大橋歩道の除雪作業



国土交通大臣からの感謝状

観光地周辺道路の清掃・美化活動（大之木建設（株））

大之木建設（株）は、地域社会とのコミュニケーションを図り、環境保全に寄与するため、年間 15 回以上の地域貢献活動の実施を方針として定めている。

毎月 1 回行う活動としては、本社周辺の清掃・美化活動と、広島支社近くの大田川右岸約 700m にわたる清掃活動がある。大田川右岸の清掃活動は、国土交通省大田川河川事務所の同意を得て、マイリバー美化活動として実施している。

また、この他に毎年 3 回（3 月、7 月、11 月）、国道 487 号線の約 1.4km にわたる歩道と緑地帯の清掃・美化活動に取り組んでいる。この路線は、周辺に美術館や記念館などが立地し、多くの観光客が訪れる場所である。そこで、ここ数年は、美術館入口周辺での芝桜の植栽に力を入れており、毎年色とりどりの芝桜の花が住民や観光客の目を楽しませている。

同社は、平成 20 年 9 月に広島県からアドプト活動団体の認定を受けており、今後も、国道 487 号線を対象としたプログラムの充実を図っていく考えである。



国道 487 号線の歩道清掃



緑地帯の草刈り・清掃



美術館周辺での芝桜の植栽

(4) 環境保全活動

会員企業の環境保全活動として、次の事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B4-02	滋賀県	(株)桑原組	砂防工事現場での里山探検と記念植樹

事例 B4-02 : 滋賀県

砂防工事現場での里山探検と記念植樹 ((株)桑原組)

(株)桑原組は、地域の環境保全を推進するために、NPO 法人 CESA (循環型社会形成推進協議会) と連携して、毎年数回、工事現場で CESA プログラムを開催している。これは、地域住民、NPO、発注者 (行政) の参加によって、現場での環境アセスメントの自主的実践、専門家の指導による地域住民との交流を行うことで、公共事業と環境保全の重要性を広く理解してもらおう活動である。

平成 23 年 3 月 26 日の第 20 回プログラムは、「春の里山 CO2 ウォッチング」と題して、滋賀県発注の竹長川補助通常砂防 (総流防) 工事の現場で、野洲市南桜地区住民 15 名を招待して開催した。

当日は、事務所前で砂防工事や環境保全について解説したあと、近くの里山を探検しながら、樹木の太さを測って CO2 吸収量を計算したり、子どもたちによる桜の苗木の記念植樹を行うなど、親子で楽しい 1 日を過ごした。植樹した苗木には、子どもたち自作のイラスト入り名前プレートを取り付けた。

同社は、近江商人の精神である「三方よし」(売り手よし、買い手よし、世間よし) を会社理念としており、今後もこうした活動を継続することで、企業の社会的責任を果たしていきたいと考えている。



樹木の太さ測定



子どもたちによる記念植樹



植樹した苗木へのプレート取付け

(5) 建設業ふれあい活動

会員企業の建設業ふれあい活動として、次の4事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B5-01	北海道	草野作工(株)	「こいのぼりフェスティバル」の支援
B5-02	福島県	菅野建設工業(株)	現場見学会「こはたやまがっこう」の開催
B5-03	富山県	此川建設(株)	ニジマス・岩魚つかみ大会の会場設営
B5-04	福井県	坂川建設(株)	まちづくりイベントへの運営協力

事例 B5-01 : 北海道

「こいのぼりフェスティバル」の支援（草野作工(株)）

草野作工(株)は、地元江別市の市制施行50周年記念として平成16年に始まった「こいのぼりフェスティバル」の開催を全面支援している。

このフェスティバルは、千歳川を跨いで約50匹のこいのぼりを揚げて、その下でカヌー乗船体験、和太鼓演奏、人形劇・紙芝居、昔の遊び、防犯グッズ展示など多彩なイベントを繰り広げる行事で、今では市民約1万人が集まる一大イベントとなっている。

同社は、イベントのメインとなる約200mにわたるこいのぼりの掲揚作業に毎年約10名の職員を動員し、準備のワイヤー張りから撤去作業まで、建設業の技術を活かした支援を行っている。また、千歳川の川幅に合った掲揚方法を立案するために、先進事例の視察研究を行なうなど、フェスティバルの牽引役として企画段階から主導的役割を果たしている。

同社及び同社が加入する江別建設業協会(フェスティバル実行委員会のメンバー)の貢献に対しては、江別市などから数度にわたり感謝状が贈られている。



千歳川を跨ぐこいのぼり



こいのぼりの掲揚準備



江別市長からの感謝状

現場見学会「こはたやまがっこう」の開催（菅野建設工業(株)）

菅野建設工業(株)は、平成 22 年 10 月、二本松市木幡地内で施工している県道改良工事及び農道整備工事の現場に、地元の木幡幼稚園の園児や保護者らを招待して、道路の役割や建設業について学んでもらう「こはたやまがっこう」を開催した。

そのきっかけは、この現場から木幡幼稚園がよく見えたことで、この風景を園児にも見せてあげたいという現場社員の想いから開催に至った。

当日は、社長自らが園児 19 名と保護者らを引率して、幼稚園から工事現場までの道のりをゴミ拾いをしながら移動した。「こはたやまがっこう」では、両工事の現場代理人が校長、教頭を務め、授業内容について説明したあと、県の監督員が道路の役割について解説した。

続いて園児らは現場内を見学し、場内に配置した建設重機の乗車体験や、斜面を利用した山登り、土手すべりで同社社員との交流を深めながら、道路整備や建設業についての知識を深めた。また、社員による紙芝居やプレゼントの交換などもあって、園児らは楽しい一日を過ごし、園長からは感謝の言葉を頂いた。

同社は、こうしたふれあい活動とともに、社会福祉活動にも力を入れている。特に毎年 2 回の献血活動は、30 年以上継続しており、近年では協力会社、地域住民も参加する大規模な献血活動となっている。平成 20 年にはその実績が認められて、日本赤十字社より金色有功章を受章した。



建設重機の乗車体験



山登り・土手すべり



30 年以上続く献血活動



金色有功章

ニジマス・岩魚つかみ大会の会場設営（此川建設（株））

此川建設（株）は、地元宇奈月で開催される「ニジマス・岩魚つかみ大会」の会場設営から運営に至るまで、大会のサポートを30年以上にわたって続けている。

昭和55年に始まったこの大会は、毎年8月の暑い盛りに、清流黒部川の河川敷でニジマスや岩魚のつかみ取りを楽しむイベントで、今では子どもからお年寄りまで300人を超える人々が集まる地域の交流の場となっている。

当初は、同社が河川工事で培ったノウハウを活かして、幼児や小学生（低・高）から成人、お年寄りまで、全ての年代が安心して楽しめるように、池の深さ、石の配置に工夫を凝らして、会場となる魚の放流池を造り上げた。平成18年以降は、河川公園内の人工池に会場を移したため、池造りの作業はなくなったが、人工池の定期的な清掃など、同社の大会サポートは続いている。

この大会で子どもたちが捕まえたニジマスや岩魚は、串焼きの魚と交換され、それを賞味しながら、地域の人々と一緒に汗をかいて囲炉裏造りや魚焼き、大鍋づくりを楽しむことは、同社にとっても地域とのふれあいの絶好の機会となっている。大会の参加者からは、「此川さん来年もたのんますちゃ」などと声を掛けられることも多く、社員一同、これを励みに次の大会開催を楽しみにしている。

同社のこうした功績に対して、平成元年、3年、20年に続き、22年の30周年記念大会においても、主催者の青少年育成黒部市民会議から感謝状が贈られた。



人工池でのニジマス・岩魚つかみ取り



ニジマス・岩魚の串焼き



青少年育成黒部市民会議からの感謝状

まちづくりイベントへの運営協力（坂川建設（株））

坂川建設（株）は、発祥の地である南越前町で、地域資源を活かしたまちづくり活動やイベントの運営に積極的に協力している。

南越前町では、毎年夏の「花はすまつり」のイベントの1つとして、同町が誇る日本一の花はす圃場を走る「花はすマラソン大会」を開催している。

同社は、この大会の運営に全面協力して、会場設営や資機材運搬車両の提供等を行っている。

また、「南越前町産業物産フェア 2010」（平成 22 年 10 月）では、その運営に協力するとともに、建設業を広く理解してもらおうと、自社の展示ブースを設けた。

ブースでは、杉や檜の皮を再利用した壁面緑化資材の展示、建築耐震工事の説明コーナー、体験コーナー、建設クイズ等盛りだくさんの内容で、地域との交流を図った。特に、建設機械の試乗体験と保護具の装着体験は好評で、親子のふれあいを深める良い機会となった。

同社のこうした取組みに対して、平成 22 年、南越前町より感謝状が贈られた。



花はすマラソン大会の会場設営



リフト車の試乗体験（産業物産フェア）



保護具の装着体験（産業物産フェア）



建設資材等の展示（フクイ建設技術フェア）



南越前町長からの感謝状

(6) 社会福祉活動

会員企業の社会福祉活動として、次の2事例を紹介します。

事例No.	都道府県	企業名等	活動内容
B6-01	北海道	萩原建設工業(株)	謝恩クラシックコンサートの開催
B6-02	北海道	開発工建(株)	独居高齢者宅の除雪奉仕活動

事例 B6-01：北海道

謝恩クラシックコンサートの開催（萩原建設工業(株)）

萩原建設工業(株)は、地域の人々に気軽にクラシック音楽に触れてもらおうと、平成2年より、謝恩クラシックコンサートを開催し、希望者を無料招待している。

平成22年度は、7月10日、音更町文化センターにて第23回謝恩コンサート「モーツァルトとブラームスの弦楽五重奏曲」を開催した。会場には約800人が集まり、第一線で活躍する4人の演奏家の美しい調べを堪能した。このコンサートは、毎回楽しみにしているファンも多く、地域の恒例行事として定着している。

同社のこうした活動は、行政からも高く評価されており、平成21年には、地域文化の振興に寄与したことで北海道知事から感謝状が贈られた。



客席を埋めた来場者



第23回謝恩コンサートの案内



観客を魅了する演奏



北海道知事からの感謝状

独居高齢者宅の除雪奉仕活動（開発工建（株））

開発工建（株）は、平成 6 年より毎年、同社の所在する岩見沢市幌向地区の独居高齢者宅約 10 軒を対象に、除排雪の奉仕活動を実施している。

岩見沢地域は、北海道でも有数の豪雪地帯であるが、特に平成 22 年度は、1 月の大雪によって例年以上に幌向地区での積雪が多くなり、住民生活にも支障を来たし始めていた。

同社は、雪が小康状態となった 2 月 3 日、ロータリー除雪車と小型ダンプ、職員 10 名を動員して、市内の独居高齢者宅 8 軒で除排雪作業を開始した。作業には地元町の町内会関係者も加わり、軒先周りの雪を人力で除雪し、道路側に排出した雪はロータリー除雪車と小型ダンプを使って雪捨場まで運搬した。

同社の除雪奉仕活動は、独居高齢者のみならず周辺住民にもたいへん感謝されており、平成 22 年には、幌向地域ふれあい推進協議会から感謝状が贈られた。

なお、同社では、冬期の除排雪のほかにも、年間を通じて会社周辺の清掃奉仕や植栽活動を続けており、地域の環境美化に貢献している。



独居高齢者宅の雪下ろし



ロータリー除雪車と小型ダンプによる排雪



ふれあい推進協議会からの感謝状



雪解け後の植栽活動（5月）

建設業の社会貢献活動を推進する協会ネットワーク

- | | | |
|--|---|---|
| <p>社団法人 全国建設協会
〒104-0032 東京都中央区八丁2番2-5-1
TEL.03-5551-9396 FAX.03-3555-3218</p> <p>社団法人 北海道建設協会
〒980-0004 札幌市中央区北4条東3-1
TEL.011-351-6184 FAX.011-251-1206</p> <p>社団法人 青森県建設協会
〒030-0853 青森市中央2-9-13
TEL.017-722-7611 FAX.017-722-7617</p> <p>社団法人 岩手県建設協会
〒920-0873 盛岡市中央1-7-9
TEL.019-653-6111 FAX.019-625-1782</p> <p>社団法人 宮城県建設協会
〒980-0824 仙台市青葉区文春町2-48
TEL.022-262-2211 FAX.022-263-7059</p> <p>社団法人 秋田県建設協会
〒010-0951 秋田市山王4-3-10
TEL.018-823-5495 FAX.018-865-2006</p> <p>社団法人 山形県建設協会
〒980-0024 山形市東8丁目18-25
TEL.023-641-0028 FAX.023-624-7391</p> <p>社団法人 福島県建設協会
〒960-0951 福島市本町4-2-25
TEL.024-521-0244 FAX.024-522-4513</p> <p>社団法人 茨城県建設協会
〒310-0002 水戸市大町5-1-22
TEL.029-221-5126 FAX.029-225-1158</p> <p>社団法人 栃木県建設協会
〒321-0033 宇都宮市蓮沼町1958-1
TEL.028-639-2611 FAX.028-639-2865</p> <p>社団法人 群馬県建設協会
〒371-0846 前橋市元湯町72-5-3
TEL.027-252-1666 FAX.027-252-1950</p> <p>社団法人 埼玉県建設協会
〒338-8515 さいたま市浦和区手塚4-1-7
TEL.048-861-5111 FAX.048-861-5376</p> <p>社団法人 千葉県建設協会
〒280-0024 千葉市中央区中町1-13-1
TEL.043-846-7824 FAX.043-846-9655</p> <p>社団法人 東京都建設協会
〒104-0032 東京都中央区八丁2番2-5-1
TEL.03-3555-9656 FAX.03-3555-2170</p> <p>社団法人 神奈川県建設協会
〒231-0011 横浜市中区本町72-22
TEL.045-201-9451 FAX.045-201-2707</p> <p>社団法人 山梨県建設協会
〒400-0031 甲府市丸の内1-14-14
TEL.055-235-4421 FAX.055-233-9572</p> | <p>社団法人 新潟県建設協会
〒950-0905 新潟市中央区光明7-5
TEL.025-285-7111 FAX.025-285-7119</p> <p>社団法人 長野県建設協会
〒380-0824 長野市南石堂町1230
TEL.026-289-7200 FAX.026-224-3361</p> <p>一般社団法人 岐阜県建設協会
〒500-0792 岐阜市南田町1-2-2
TEL.058-270-3344 FAX.058-273-3158</p> <p>社団法人 静岡県建設協会
〒420-0957 静岡市東区藤巻町9
TEL.054-255-4234 FAX.054-255-5590</p> <p>社団法人 愛知県建設協会
〒460-0008 名古屋市中区栄9-28-21
TEL.052-242-4181 FAX.052-242-4194</p> <p>社団法人 三重県建設協会
〒514-0003 津市保津2-177-2
TEL.059-224-4116 FAX.059-228-6143</p> <p>社団法人 富山県建設協会
〒930-0084 富山市友臣町3-14
TEL.076-432-5976 FAX.076-432-5979</p> <p>社団法人 石川県建設協会
〒921-8009 金沢市本町1-1-50
TEL.076-242-1181 FAX.076-241-8239</p> <p>社団法人 福井県建設協会
〒910-0854 福井市南条5-10-15
TEL.076-24-1184 FAX.076-27-3003</p> <p>社団法人 滋賀県建設協会
〒520-0801 大津市にいのち1-1-18
TEL.077-522-3232 FAX.077-522-7743</p> <p>社団法人 京都府建設協会
〒604-0944 京都市中京区小塩通福徳寺人権町645
TEL.075-211-4161 FAX.075-251-3128</p> <p>社団法人 大阪府建設協会
〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-50
TEL.06-6941-4621 FAX.06-6941-9597</p> <p>社団法人 兵庫県建設協会
〒651-2277 神戸市西区舞子台5-1-12
TEL.079-897-2300 FAX.079-897-2207</p> <p>社団法人 奈良県建設協会
〒630-8241 奈良市高天原5-1
TEL.0742-22-3338 FAX.0742-23-9121</p> <p>社団法人 和歌山県建設協会
〒640-8262 和歌山市東真打丁北1-1-8
TEL.073-438-5911 FAX.073-438-2567</p> <p>社団法人 鳥取県建設協会
〒680-0022 鳥取市南町2-310
TEL.0857-24-2281 FAX.0857-24-2283</p> | <p>社団法人 高知県建設協会
〒980-0048 松江市西通町1-3-17-101
TEL.0852-21-0004 FAX.0852-31-2166</p> <p>社団法人 岡山県建設協会
〒700-0827 岡山市北区平和町5-10
TEL.086-225-4131 FAX.086-225-5388</p> <p>社団法人 広島県建設工業協会
〒730-0012 広島市中区江口丁2番23
TEL.082-511-1426 FAX.082-511-1451</p> <p>社団法人 山口県建設協会
〒753-0074 山口市中区4-5-16
TEL.083-822-2857 FAX.083-823-7101</p> <p>社団法人 香川県建設協会
〒760-0026 高松市南陽町6-4
TEL.087-451-7919 FAX.087-451-4079</p> <p>社団法人 徳島県建設協会
〒770-0931 徳島市富田浜2-10
TEL.088-943-3324 FAX.089-933-9168</p> <p>社団法人 愛媛県建設協会
〒790-0002 松山市二番町4-4-4
TEL.089-927-6970 FAX.089-927-6970</p> <p>社団法人 高知県建設協会
〒780-0070 高知市本町1-3-15
TEL.088-822-6181 FAX.088-823-9662</p> <p>社団法人 福岡県建設協会
〒812-0013 福岡市博多区博多駅前5-14-18
TEL.092-477-6731 FAX.092-477-6740</p> <p>社団法人 佐賀県建設協会
〒840-0041 佐賀市城内町2-2-37
TEL.0952-23-3117 FAX.0952-24-9751</p> <p>社団法人 長崎県建設協会
〒850-0874 長崎市島の前3-33
TEL.095-828-2285 FAX.095-828-2289</p> <p>社団法人 熊本県建設協会
〒862-0976 熊本市九島町4-6-4
TEL.096-355-5111 FAX.096-353-1192</p> <p>社団法人 大分県建設協会
〒870-0046 大分市西町4-28
TEL.097-538-4800 FAX.097-534-5238</p> <p>社団法人 宮崎県建設協会
〒880-0905 宮崎市橘通東2-9-15
TEL.0985-22-7171 FAX.0985-2-6788</p> <p>社団法人 鹿児島県建設協会
〒890-8512 鹿児島市吉成新町6-10
TEL.099-257-9811 FAX.099-257-9514</p> <p>社団法人 沖縄県建設協会
〒900-12131 浦添市牧志5-6-8
TEL.098-876-5211 FAX.098-870-4665</p> |
|--|---|---|

生活を守り
まちをささえる
建設業

社団法人 全国建設協会
47都道府県建設協会



2011年7月制作
最新資料掲載を基にします。

<http://www.zenken-net.or.jp>



生活を守り まちをささえる建設業

日本列島は、地震、台風、豪雨、豪雪等の常襲地帯であり、厳しい自然環境におかれています。3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震では、史上類を見ない巨大津波が東北地方の沿岸地域を襲い、多くの尊い人命と貴重な財産が失われるなど、未曾有の被害をもたらしました。このように自然災害が多発する我が国において、国民の安全・安心な暮らしを確保するためには、防災・減災対策を一層推進するとともに、計画的な社会資本整備を進めることが何よりも必要です。

社団法人全国建設協会をはじめ、各都道府県建設業協会並びに会員企業は、災害時における緊急復旧活動をはじめ、地球環境問題への取り組み等、各地域で真摯に様々な社会貢献活動に取り組んでいます。

これからも、豊かで安全な国民生活、国際競争力のある経済社会の実現のため、国民にとって真に必要な公共事業を推進し、国民生活の向上に貢献してまいります。



(新燃岳の噴火)

(東日本大震災
福島県南相馬市)

建設業の 事業活動 と目標 2

災害から守る

日本列島は、地震、台風、豪雨、豪雪等の常襲地帯であり、厳しい自然環境におかれています。建設業は計画的な社会資本整備を進めるとともに、災害時には迅速な復旧活動を行い、地域の安全・安心を守っています。

地域経済を支える

建設業で働く人々は全国に約500万人います。これは、全就業者の約1割です。建設業は地域の雇用と経済を支えています。

建設業の 事業活動 と目標 3



平成23年度
建設業社会貢献活動事例集
—生活を守り まちをささえる建設業—

平成24年4月

発行 一般社団法人 **全国建設業協会**
東京都中央区八丁堀2丁目5番地1号
☎ 03(3551)9396(代表)
<http://www.zenken-net.or.jp/>

許可なく複製転載を禁ず

印刷 株式会社ガイドプラントーキョー

4000 2012.4



一般社団法人 全国建設業協会
東京都中央区八丁堀2丁目5番1号
☎03(3551)9396(代表)